

平成29年度 事業報告書

平成30年 5月

社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会

2017 年（平成 29 年）度事業報告

★印は、第 1 期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画として位置づけられた事業

参照ページ

1. 地域福祉推進事業		
①★	第 1 期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画が終了。様々な世代の声を吸い上げ、本計画の進行管理機関である「大野城市やすらぎのまち市民協議会」の意見を取り入れ、更に充実した活動を目指し、市と共働して第 2 期の計画の策定を行なった。	P7
②	各地域で定例的に開催される地域ケア会議、地域福祉推進委員会（福祉部会）、各コミュニティの福祉部会の会議へ職員が参加し、コミュニティワーカーとして各地域の福祉活動を支援した。個別ケースの検討や困難ケースの増加とともにその会議数も増える傾向にある。	P8
③	各コミュニティ福祉部会では地域福祉推進委員のつどい等で、コミュニティ独自のやり方の見直しが行なわれた地域もあり、行事のマンネリ化の一掃を図られた。また、番茶の会においては東地区が、会場をロイヤルチェスターに変更し、新しい参加者の発掘にもつながった。	P16
④★	地域主体の学び場としての「ふーちゃんゼミナール」のプログラムの充実を図りコーディネートを行なった。依頼内容は、認知症や介護に関する内容が多く、身近に感じる地域の様々な課題解決の一翼を担っている。	P17
⑤★	認知症行方不明者捜索訓練は地域全体で検索する体制づくりと初動時に地域福祉関係者だけではなく、様々な関係機関と連携を図っていくことを目的に東地区コミュニティ 7 区合同で開催された。この事業は、訓練だけを目的としているのではなく、認知症への正しい理解を進めるため、事前に認知症サポーター養成講座や認知症専門医による認知症を理解する講座などを実施している。	P20
2. 法外援護対策事業		
	火災等の被災者に対し、布団並びに見舞金を支給している。台風や豪雨により公民館へ自主避難する人に対しては、市（危機管理部）と連携しながら貸布団を提供し支援を行っている。平成 29 年度は実績がなかったが、即対応できる環境を整えている。 また、認知症による行方不明者の件数が増加しており、大野城市行方不明者捜索マニュアルに沿って市と連携しながら社協内でも情報を共有し捜索にあたっている。	P21
3. 福祉教育（学校）		
①	市内の小学校等からの福祉教育の依頼があった時は、当事者の方や校区内の民生委員、福祉委員にも支援頂き、一緒に福祉やボランティアについての学習を行った。限られた時間の中で、子どもたちひとり一人が自分たちにできることは何かを考えることができる機会をつくった。	P28
②★	市内の小中学校の教職員を対象とした福祉教育基礎研修会は、大阪教育大学より講師を迎え、子どもたちの主体的な学びにつながる福祉教育とは何かを学び、実践に活かすことのできる内容とした。より多くの教職員が参加しやすい環境を整えるため、教育委員会との連携を図った。	P30
③★	福祉教育推進校については、大野小学校が推進校として平成 28 年度より選定されている。2 年目となった平成 29 年度は 4 年生を対象とし、相手の立場に立って思いやりの心を育てることを目的に大野小学校、市福祉課、社協とで一体的に福祉教育を推進した。	P31
4. 共同募金運動		
	区役員を中心とした企業募金推進委員や商工会の働きかけもあり、企業募金については昨年の実績を上回った。また、天龍堂製菓（仲畑）の協力を得て、共同募金に還元する寄付つき商品「ワンコイン（100 円）かりんとう」は年を追う毎に、広く地域に周知され、地域や団体から多くの注文をいただいている。共同募金の仕組みや用途について、分かりやすく伝え、理解を得ることができるよう努めた。	P32
5. 生活福祉資金貸付事業		
	相談件数は、昨年度と比較すると大幅に増えた。今後はさらに増加することが予想される。貸付希望者の負担軽減や支援の方向性を明確にするために、市の自立相談支援機関との連携を図った。教育支援費については、奨学金等の拡充に伴い、他制度に繋ぐことを目的とし平成 29 年度からは貸付期間が半年となった。将来大きな負担にならないよう、相談初期から配慮して対応した。	P37

6. 大野城市生活支援体制整備事業（市受託事業）		
	生活支援体制整備研究会で年6回にわたる協議を重ね、第1層協議体「もやいネット大野城」の設置に向け取り組んだ。また、この生活支援体制整備事業を一般市民に広く周知し、理解協力を得るため、市民啓発セミナーを各コミュニティで行った。また、生活支援コーディネーターがこれまで様々な社会資源調査を行ってきた内容を冊子にまとめた「大野城市暮らしのもやい帳」が完成し、有効的な活用が期待される。	P38
7. 被災地支援活動		
	昨年度までは「東北応援の旅」を5回開催してきたが、今年度は熊本を応援することを目的に「熊本復興応援の旅」を実施し、益城町や南阿蘇村などを訪問した。 また、7月5日6日に発生した九州北部豪雨で被災した朝倉市及び東峰村(宝珠山)のボランティアセンターの運営支援者として職員の派遣を行った。	P41
8. ボランティアセンター		
① ★	平成27年度から災害ボランティア養成講座を開催し、その後、受講生へのフォローアップ講座を継続して行なってきた。関心の高い参加者とともに災害ボランティアグループ事前会議を重ね、災害ボランティアグループの組織化を図った。	P45
②	九州北部豪雨の支援として、ボランティアを募集して社協福祉バスを2回運行し、朝倉市災害ボランティアセンターを通じ、災害支援ボランティア活動を行なった。また、被災地でボランティア活動を希望する市民からの来会による相談は393人にのぼり、ボランティア保険加入手続きなどを行いながら、被災地の情報提供やアドバイスを行った。	P46
③ ★	ボランティアエントリーシステムについては、ボランティア活動へ気軽に「エントリー（応募）」することができる仕組みをつくり、新たな人材がボランティア活動を始める機会を提供している。市内のボランティアの受け入れを行っている福祉施設やボランティア団体にボランティアエントリーシステムの趣旨説明を行い、気軽にできるボランティア活動メニューづくりを行った。	P46
9. 総合相談		
	新たな取り組みとして、4地区のコミュニティにて法律相談を実施し、市民がより身近に感じ、気軽に相談できる開かれた窓口づくりに努めた。相談件数は昨年と比較しほぼ横ばいであるが、複雑なケースが増え、傾聴やアドバイスにとどまらず専門機関へつなぎ、相談者に寄り添った支援を行っている。	P50
10. 介護サービス		
	介護保険制度改正により総合事業・訪問型サービスA及び訪問型サービスB国基準にも回数制が導入されたことにより、訪問時間数の減少が顕著に表れ厳しい収支となっている。専門性を必要とする訪問介護、障害福祉サービスの中重度利用者などへのホームヘルプ利用者への支援を専門性の一部として今後、一層担わなければならない。 指定特定相談支援・指定障害児相談支援においては市と連携を要するケースの支援を主に行なっている。 地域における困難ケースでは、社協の訪問介護員・ケアマネジャー・地域課職員が連携しながら困難ケースに対応するなどして社協の強みを活かしている。また、毎年、コミュニティで実施されている総合避難訓練では、福祉避難所の運営スタッフとして訓練に参加している。	P52
11. 権利擁護事業		
★	平成29年度に権利擁護課を設け、日常生活自立支援事業や法人後見を中心とする取り組みを強化。 日常生活自立支援事業については、利用者が急増していることや、権利擁護事業の裾野を広めるため生活支援員(市民ボランティア)の増員に努めた。 また、法人後見事業については、法人後見業務を監督するため、専門職(外部委員)で構成する「成年後見運営委員会」において受任に関する適否を審議した。 昨年、成年後見制度利用促進基本計画が位置づけられ、地域社会の中で本人や後見人を支える社会的ネットワークが整備されつつある。本人の意思決定の支援の重視と自発的意思を尊重しながら後見業務を行っている。	P56

12. 寄 附	
香典返しなどの寄附が依然として、激減している。その背景として、核家族化により特に都市圏において、葬儀のかたちが家族葬へと変化し、香典返し寄附そのものが、一般的になじみがないものになってきていると考えられる。 一方で、市内の企業より寄贈などもあり、企業の社会貢献としての寄附のあり方については、ファンドレイジングの考え方を取り入れながら、一層の工夫やPRが必要となっている。	P59

平成29年度 大野城市社会福祉協議会 主な行事・会議等報告書

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
4	3	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	8	土	職員研修		
	12	水		福祉委員会	
	20	木		所属長会議	
	21	金	第1回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
			※地域ケア会議・・・8地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 14地区	
	10	水	第1回大野城市生活支援体制整備研究会		
	17	水		所属長会議	
	22	月		27年度下半期監査	
	23	火		評議員選任解任委員会	
	25	木		正副会長会	
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 10地区	
6	1	木		理事会	
	5	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	12	月		評議員会	
	14	水		福祉委員会	
	16	金		所属長会議	
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 16地区	
7	3～4	月～火	熊本復興応援の旅		
	6	木		広報委員会	専門委員会
	8	土	職員研修		
	14	金	第2回大野城市生活支援体制整備研究会		
	20	木		所属長会議	
	25	火		ボランティアセンター運営委員会	
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 9地区	
8	3	木		広報委員会	専門委員会
	6	日	小中ふれあいの旅事前説明会		
	9	水	福祉教育基礎研修会		
	17	木		所属長会議	
	26～27	土・日	小中ふれあいの旅2017		
	29	火		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	31	木	第2回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 12地区	
9	5	火	共同募金啓発ポスター選考会		
	8	金		広報委員会	専門委員会
	9	土	赤い羽根共同募金のつどい		
	10	日	小中ふれあいの旅報告会		
	14	木	重度障がい者リフレッシュ事業		
	15	金		法人後見運営委員会	
	21	木		所属長会議	
	23～24	土・日	おおの山城大文字まつり		
	26	火	被災地へボランティアバス運行①		
	28	木	第3回大野城市生活支援体制整備研究会		
	31	土	被災地へボランティアバス運行②		
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 13地区	

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
10	1	日	共同募金運動開始(12/31まで)		
	2	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	6	金		広報委員会	専門委員会
	8	日	ふれあいの旅2017事前説明会		
	11	水		福祉委員会	
	13	金		理事会	
	15	日	翔んでふれあって2017		
	19	木		所属長会議	
	24	火	中央地区番茶の会		
	28～29	土・日	ふれあいの旅2017		
			※地域ケア会議・・・14地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 16地区	
11	4	土	まどかフェスティバル		
	5	日	健康食育フェスティバル		
	7	火	中央地区企業募金推進会議	広報委員会	専門委員会
	8	水	南地区番茶の会		
	9	木	東地区企業募金推進会議		
	10	金	北地区番茶の会		
	13	月	南地区企業募金推進会議		
	14	火	北地区企業募金推進会議		
	15	水		所属長会議	
	20	月	東地区番茶の会	28年度上半期監査	
	25	土	ふくしフェスティバル2017リハーサル・前日準備		
	26	日	ふくしフェスティバル2017		
	28	火		正副会長会	
	30	木	第4回大野城市生活支援体制整備研究会		
			※地域ケア会議・・・13地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 12地区	
12	1	金		広報委員会	専門委員会
	4	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	6	水	鹿児島県内社協視察来訪		
	8	金		理事会	
	9	土	職員研修(人権)		
	11	月	東地区認知症を理解する講座		
	13	水		福祉委員会	
	15	金		福祉事業委員会	専門委員会
	21	木		所属長会議	
	22	金		評議員会	
	27	水	第3回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
			※地域ケア会議・・・9地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 13地区	
1	5	金		ボランティアセンター運営委員会	
	9	火		広報委員会	専門委員会
	19	金		所属長会議	
	24	水	災害ボランティアセンター(図上)運営訓練		
	28	日	東地区認知症サポーター養成講座		
	31	水	心配ごと相談事業懇談会		
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 17地区	

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
2	1	木	第5回大野城市生活支援体制整備研究会		
	5	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
				広報委員会	専門委員会
	11	日	東地区認知症捜索訓練		
	13	火		福祉事業委員会	専門委員会
	14	水	社会福祉法人ネットワーク会議	福祉委員会	
	16	金		所属長会議	
	27	火		総務委員会	専門委員会
			※地域ケア会議・・・12地区 福祉推進委員会(福祉部)・・・ 17地区		
3	2	金		正副会長会	
	3	土	大野城市生活支援体制整備事業市民啓発セミナー(南地区・中央地区)		
	7	水	社会福祉法人ネットワーク会議		
	9	金		広報委員会	専門委員会
	11	日	おおのじょうボランティアのつどい		
			北地区総合避難訓練		
			北地区復興のタペ		
	13	火		理事会	
	15	木	在宅介護者のつどい		
	16	金		所属長会議	
	20	火	第4回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	22	木		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	24	土	大野城市生活支援体制整備事業市民啓発セミナー(東地区・北地区)		
	26	月	第6回大野城市生活支援体制整備事業研究会		
	27	火		ボランティアセンター運営委員会	
	28	水		評議員会	
			※地域ケア会議・・・13地区 福祉推進委員会(福祉部)・・・ 14地区		

※ 毎月第2土曜日は介護サービス定例研修

平成 29 年度 事業報告書

目 次



「平成 29 年度事業報告（概要）」

I. 法 人

1. 理事会・評議員会等	1
2. 専門委員会	5
3. 情報公開	6

II. 事業・活動

4. 地域福祉推進事業	7
5. 広報関係	21
6. 法外援護対策事業	21
7. 身体障がい者福祉対策事業	22
8. 知的障がい児者福祉対策事業	23
9. 高齢者福祉対策事業	24
10. 子育て支援事業	25
11. 児童青少年福祉対策事業	28
12. 福祉教育	28
13. 父母子福祉対策事業	31
14. 在宅介護者支援事業	31
15. 平成 29 年度共同募金運動	32
16. 福祉機器貸出事業	34
17. 福祉機器リサイクル事業	34
18. 移送サービス事業	35
19. ハンディキャブ貸出事業	35
20. 福祉食事サービス	36
21. 福祉バス運行事業	36
22. 生活福祉資金貸付事業	37
23. 大野城市生活支援体制整備事業	38
24. 被災地支援活動	41

III. ボランティアセンター事業

25. ボランティア活動推進	43
26. 声の広報	49

IV. 総合相談事業

27. 総合相談事業	50
------------	----

V. 介護サービス事業

28. 介護サービス事業	52
--------------	----

VI. 総合福祉センター

29. 総合福祉センター	54
--------------	----

VII. 権利擁護事業

30. 日常生活自立支援事業	56
31. 法人後見事業について	58

VIII. 寄附採納事業

32. 寄附採納事業	59
------------	----

IX. その他の事業

33. ふくしフェスティバル 2017	60
34. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ	60
35. 職員の資格（取得）状況	61
36. 職員内部研修	62

【資 料】

別表 1. 社協会員推進状況	63
別表 2. 介護サービス状況	64
別表 3. ほっとサポート状況	67
別表 4. 介護サービス研修会開催状況	68
別表 5. 福祉食事サービス利用状況	69
別表 6. 職員研修参加等実績	70

I . 法 人

理事会・評議員会等		1
専門委員会		5
情報公開		6

1. 理事会・評議員会等

理事・監事の任期は、平成 29 年 6 月 12 日から平成 31 年定時評議員会終結時まで。

評議員の任期は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 33 年定時評議員会終結時まで。

定款第 15 条第 4 項及び第 28 条第 2 項の規定に基づき、第 2 回理事会並びに第 2 回評議員会は書面表決をおこなった。

1 理事会開催状況（理事総数 13 名）

開催年月日			議 題		出席者
平成 29 年	6月1日	第1回	第1号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会会長の選定について	11名
			第2号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会副会長の選定について	
			第3号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会常務理事の選定について	
			第4号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会専門委員会委員の構成について	
			第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員の選任について	
			第6号議案	平成 28 年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	
			第7号議案	平成 28 年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会決算書及び監査報告について	
			第8号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会規程の一部改定(案)について	

			第9号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員会の招集について	
	8月8日	第2回	第10号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会会長、副会長、常務理事の選定について(書面表決)	13名
	10月13日	第3回	報告事項	・正規職員の補充及び職員増員要望の結果について ・これからの社協を見据えて職員の一部異動について ・生活支援体制整備事業(受託事業)の進捗状況について ・第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画の策定進捗状況について	12名
	12月8日	第4回	第11号議案	総合福祉センター(1階)の一部改修工事にともなう補正予算について	12名
			第12号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の権利擁護事業における補正予算について	
			第13号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の生活福祉資金貸付事業に係る補正予算について	
			第14号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会経理規程の改正について	
			第15号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の職員の所有する自動車の業務使用に関する規程の改正について	
			第16号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の定款変更による規程内定款条文番号の変更について	
			第17号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会職員給与規程の改正について	
	平成30年 3月13日	第5回	第18号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会総合福祉センターサービス区分の補正予算(案)について	13名
			第19号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会就業規則の改正(案)について	

	3月13日	第5回	第20号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局 規程改正(案)について	13名
			第21号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局 長職の選任及び解任について	
			第22号議案	平成30年度社会福祉法人大野城市社会福祉協 議会事業計画書(案)について	
			第23号議案	平成30年度社会福祉法人大野城市社会福祉協 議会資金収支予算(案)について	

正副会長会の開催 …… 打合せ会議を3回開催
(平成29年5月25日・11月28日平成30年3月2日)
理事会・評議員会の議案の事前審議

2 監事会の開催状況

開催年月日		監 査 内 容	出席者
平成 29 年	5月22日	平成28年度の会計決算監査	2名
	11月20日	平成29年度の会計中間監査	2名

3 評議員会開催状況 (評議員総数 19名)

開催年月日			議 題	出席者
平成 29 年	6月12日	第1回	第1号議案 社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事の選 任について	16名
			第2号議案 平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議 会事業報告書について	

			第3号議案	平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会決算書及び監査報告について	
			第4号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会規程の一部改定(案)について	
	8月8日	第2回	第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事及び監事の選任について(書面表決)	19名
	12月22日	第3回	第6号議案	総合福祉センター(1階)の一部改修工事にともなう補正予算について	16名
			第7号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の権利擁護事業における補正予算について	
			第8号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の生活福祉資金貸付事業に係る補正予算について	
平成30年	3月28日	第4回	第9号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会総合福祉センターサービス区分の補正予算(案)について	14名
			第10号議案	平成30年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業計画書(案)について	
			第11号議案	平成30年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支予算(案)について	

4 評議員選任・解任委員会開催状況 (委員総数 5名)

開催年月日			議 題	出席者
平成29年	5月23日	第3回	評議員の選任について	5名

2. 専門委員会

1 専門委員会開催状況

委員会名	開催年月日	議 題
総務委員会	書面報告 平成29年11月29日送付	補正予算（案） ・総合福祉センター（1階）一部改修工事にとともなう補正予算について ・権利擁護事業における補正予算（支出項目変更）について ・生活福祉資金貸付事務費の確定通知にとともなう補正予算について 規程等の改正予定 ・経理規程の改正 ・職員の所有する自動車の業務使用に関する規程の改正 ・定款変更による規程内定款条文番号の変更
	平成30年2月27日	第5回理事会、第4回評議員会について ・平成30年度事業計画書(案)について ・平成30年度資金収支予算(案)について
広報委員会	平成29年 7月 6日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(164号) 2017. 8.1号
	平成29年 8月 3日 平成29年 9月 8日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(165号) 2017.10.1号
	平成29年10月 4日 平成29年11月 7日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(166号) 2017.12.1号
	平成29年12月 1日 平成30年 1月 9日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(167号) 2018.2.1号
	平成30年 2月 5日 平成30年 3月 9日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(168号) 2018.4.1号
福祉事業委員会	平成29年12月15日	・正副委員長の選任について ・第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画の策定進捗状況について ・社会福祉法人のネットワークづくりとふくおかライフレスキュー事業への参加について
	平成30年 2月13日	平成30年度社会福祉協議会事業計画(案)について

3. 情報公開

平成13年より情報公開に取り組み、市民の福祉活動への理解と信頼及び積極的な参加を促進することを目的として行っています。

1 状 況

◇ 情報公開請求人 0名

情報公開請求件数:0件

処理状況:情報公開決定通知:0件

2 情報公開請求 0回

Ⅱ．事業・活動

地域福祉推進事業	7
広報関係	21
法外援護対策事業	21
身体障がい者福祉対策事業	22
知的障がい児者福祉対策事業	23
高齢者福祉対策事業	24
子育て支援事業	25
児童青少年福祉対策事業	28
福祉教育	28
父母子福祉対策事業	31
在宅介護者支援事業	31
平成 29 年度共同募金運動	32
福祉機器貸出事業	34
福祉機器リサイクル事業	34
移送サービス事業	35
ハンディキャブ貸出事業	35
福祉食事サービス	36
福祉バス運行事業	36
生活福祉資金貸付事業	37
大野城市生活支援体制整備事業	38
被災地支援活動	41

4. 地域福祉推進事業

第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画が終了し、新たに第2期計画策定の準備を進め、平成30年度より第2期計画がスタートする。

また、地域における困難ケースとして、当事者家族への対応が難しいケースがあり、社協地域ワーカー・ケアマネ、地域ボランティア、介護保険事業所が連携しながら、長い期間継続的に対応している。当事者のみならず、その家族への対応が難しいケースの増加は、介護サービスにおいても見受けられるため、今後も地域で開催されている地域ケア会議などで社協と行政と地域が引き続き情報共有していく必要がある。

平成29年度実績

1 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市と社協が一体的に策定した本計画は、最終年の3年目となった。同時に、平成30年から始まる第2期の計画策定のため、福祉課と会議を重ね、第2期計画を作成した。

本計画は、市民参加型の進行管理機関「大野城市やすらぎのまち市民協議会」の10人の委員により、ひとつひとつの方策について、評価等を行いながら、今後の指針となる意見をいただいた。

◇大野城市やすらぎのまち市民協議会

開催年月日			議 題	出席者
平成29年	4月21日	第1回	①平成29年度14事業の主な事業展開について ②第2期計画構成と進行スケジュール案について	8名
	8月31日	第2回	①全14事業の進捗状況の報告について ②第2期計画の骨子(案)について	10名
	12月27日	第3回	①全14事業の進捗状況の報告について ②第2期計画のパブリックコメント(案)について	10名
平成30年	3月20日	第4回	①全14事業の報告について ②第2期計画の報告 ③今後のスケジュールについて	10名

2 福祉委員会活動事業(第18期)

各区に1名の福祉委員を委嘱し、偶数月に定例会議を実施。

◇定例会の開催

期 日	内 容
平成29年 4月12日(水)	福祉委員会情報交換会及び懇談会
平成29年 6月14日(水)	福祉委員の役割について 地域包括支援センターの役割等について
平成29年 8月 9日(水)	福祉教育基礎研修会
平成29年10月11日(水)	事例報告・グループ討議
平成29年12月13日(水)	新・助け合い体験ゲーム『ニーズと担い手の掘り起しキット』
平成30年 2月14日(水)	防災のススメ 災害発生! そのとき、あなたはどようする?

3 社会福祉協議会会員推進

◇会員推進状況

	一 般 会 員	賛 助 会 員	特 別 会 員	合 計
件 数	13,309 件	71 件	106 件	13,486 件
口 数	20,126 口	84 口	203 口	20,412 口
金 額	10,147,076 円	168,000 円	1,015,000 円	11,330,076 円

※会員推進状況の詳細については、巻末資料「別表1 平成29年度社協会員推進状況」参照

4 福祉育成援助活動

27区の行政区に地域福祉活動助成金として社協会員会費及び共同募金配分金を交付。

5 地域ケア会議

目 的 : 高齢者の状況を中心に市(基幹型地域包括支援センター)、地域、民生委員、福祉委員、各地区地域包括支援センター、社会福祉協議会がさまざまな情報を共有し、地域での見守り活動や支援活動を推進することを目的に開催され、社協より地区担当者等が必ず出席している。地域ケア会議の開催回数は、困難ケースの増加とともに開催回数も増える傾向にある。昨年は、これまで開催されなかった地区でも開催され、27区全区で会議が開催された。

地域ケア会議参加状況(開催回数136回)

地区	地域名	開催回数	現状と課題
南地区	牛頸区	7 回	民生委員が日頃の見守り報告の中には、前回の会議から対象者がどう変わったかなどの継続ケースがあがってくることで共有しやすい。
	若草区	6 回	民生委員が見守り活動する中で、前回のケースと変わった点等をあげられ、同じ人の継続した報告がよくあがっている。
	平野台区	2 回	民生委員が4名になり、よりこまめな見守りの報告が行われ、シニアクラブと地域の防災に関するケースの話しも出てきている。
	月の浦区	5 回	高齢者ばかりでなく、小中学校の現状や、65歳未満の気になるケースも議題にあがってきている。社協のサービス利用は人口の割には少ない。
	南ヶ丘1区	6 回	高齢者が最も多い区で、会議の冒頭逝去された人の報告の時に、その後の世帯への対応を検討することもある。
	南ヶ丘2区	12 回	毎月開催しており、民生委員や推進委員が認知症の人へ対応するケースが増えている。またシニアクラブの会長とも連携し、シニアクラブの会員の情報提供も行われている。
	つつじヶ丘区	5 回	南地区の中では、社協のサービス利用者が少ない区だが、民生委員のきめ細かな見守りにより、住民のニーズや課題の報告があがっている。
中央地区	上大利区	5 回	人口・世帯数が多く、見守りが必要な方も多いと思われるので、民生委員だけでなく福祉推進委員との連携が必要になってくる。
	下大利区	6 回	近隣区の古いアパートが取り壊されて下大利区に引っ越してくる高齢者が増えているようである。
	東大利区	6 回	ケア会議で報告されるケースの中には、ミニデイ参加者も多くいるので、ミニデイの中で状況を確認するなど、見守り対象者の近況をしっかりと把握されている。
	下大利団地区	6 回	建物の構造上外からの見守りがやりにくいので、夜に電気がついていないか等、ちょっとした工夫をしながら、気になる対象者の見守りをしている。
	白木原区	6 回	見守り対象者がマンション住まいが多い中、管理人等とも連携しながら見守り・支援をされた状況が話し合われている。
	瓦田区	6 回	区の役員が変わり、新しい民生委員も多いなか、一つ一つのケースを丁寧に共有しながら、見守りが行われている。
東地区	釜蓋区	1 回	毎月福祉部定例会で見守りの情報交換を行っている。対象者一人ひとりに担当の福祉部員を決め、訪問等が行われている。次年度は当番区予定。
	井の口区	9 回	対象者名簿を随時更新しながら、見守り活動のあり方について議論されている。今年度は対象者247名の情報を関係機関と一緒に共有している。
	中区	6 回	ケア会議と福祉部推進委員会を隔月開催されている。ケア会議ではシニアクラブの役員も参加され、きめ細かい見守り情報が共有されている。

	乙金区	3	回	約 20 名の気になる対象者を中心に情報共有が行われている。認知症における対応の事例件数も少しずつ増加している。
	乙金台区	4	回	複雑に福祉課題が重なり、在宅生活がかなり厳しい対象者の支援を地域全体で取り組んだ結果、入所というかたちで解決につながった。
	乙金東区	4	回	今年度からケア会議で対象名簿が作成され、約 140 名の見守り情報が共有されている。福祉部でも見守り担当者を決めて、訪問活動等が行われている。
	大池区	3	回	毎年 6 月・10 月・2 月にケア会議が開催されている。区独自で年代層人口表などの資料を作成して、動向を確認されている。
北地区	上筒井区	6	回	民生委員がこまめに見守り訪問、関係機関・団体と連携され、対象者の状況把握をされている。
	下筒井区	4	回	日頃の見守りに加え、見守り訪問や地域行事など様々な方法で見守りと啓発が行われている。
	山田区	3	回	2 年 9 か月ぶりに会議が開催され、これから定期的に開かれる予定で、今後も地域内での情報共有がなされていく。
	雑餉隈町区	4	回	見守り対象者も増えてきている。また、ニセ電話など詐欺情報もあがってきているので関係機関と連携しながら、情報共有をしていく。
	栄町区	5	回	継続的に見守る必要がある人は多いが、推進委員も会議に出席しており、きめ細かい情報共有がなされている。
	仲島区	2	回	今年度のケア会議開催回数は 2 回と他の区に比べると少ないが、きめ細かな情報共有がなされている。
	畑詰区	4	回	民生委員・福祉委員のほか、推進委員からも見守り報告が多い。推進委員会全体で見守りが行われている。

6 各区の地域福祉推進委員会の開催状況

各地域で定例的に開催され地域福祉推進委員会(福祉部会)の会議には社協職員も参加し、コミュニケーションワーカーとして各地域の福祉活動を支援している。

地域ケア会議等において、個別ケースの検討により、地域での見守りが必要なケースは、地域福祉推進委員会によって組織的に見守り活動が行われる。したがって、地域ケア会議に比例してその会議数も増える傾向にある。

地区担当(南:馬場 中央:高原・金丸 東:栗津 北:馬場・高原・金丸・栗津) (開催回数 223 回)

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数	現状と課題
南地区	牛頭区地域福祉推進委員会	6 回	昨年始まったカフェで、コミュニケーションマージャンを多く取り入れ、新しい参加者に呼びかけしている。3人の民生委員を班長とする3班でそれぞれ活動している。
	若草区地域福祉推進委員会	6 回	新しい推進委員が増え、会議の中ではミニデいの企画や子育てサロンの取り組みについて、新鮮な意見や考えも飛び交っている。
	平野台区福祉部会	12 回	会議の前半は区や社協からの連絡事項を伝え、民生委員から気になるケースの報告がある。後半は、福祉部員で1か月間の行事の確認と内容や役割分担を協議している。
	月の浦区地域福祉推進委員会	8 回	会議の議題には、区からの連絡事項の他、福祉委員から、南コミ福祉部会から、社協からそれぞれの委員からの報告もあり、推進委員でいつも情報共有している。
	南ヶ丘1区福祉部	7 回	毎月1回のミニデいの他に、おしゃべりサロンを毎月2回開催し、コミュニケーションマージャンなどミニデいの内容の工夫等に取り組んでいる。
	南ヶ丘2区地域福祉推進委員会	12 回	毎月の地域ケア会議と同時開催され、推進委員全員での情報共有がその都度行われている。
	つつじヶ丘区福祉推進部	10 回	午前中にミニデいがあり、終了後に福祉推進部を開催。その日のミニデいの振り返りや、翌月のミニデいや福祉推進部の研修会、バスハイクの内容検討が中心。

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数	現状と課題
中央地区	上大利区地域福祉推進委員会	5 回	福祉推進委員会は偶数月に開催されている。メンバーの活発な意見交換が行われ、福祉活動に反映されている。
	下大利区愛のネットワーク推進委員会	11 回	地域清掃活動や、区内の福祉施設との交流を継続しながら推進委員会で話し合いが持たれている。推進委員会メンバーが発行する広報誌も福祉啓発の一つとなっている。
	東大利区地域福祉推進委員会	5 回	日中仕事をされている推進委員も多く、それぞれの経験や人脈が区活動や福祉活動に反映されている。ミニデイは参加者も地域課題を話し合う時間が設けられている。
	下大利団地区地域福祉推進委員会	12 回	地域ニーズを反映させたミニデイや情報を共有する推進委員会が行われ、きめ細かい見守り活動も展開されている。
	白木原区地域福祉推進委員会 「こだまの会」	6 回	ミニデイや季節の行事の話し合いに会のメンバーが積極的に意見を出しながら活動を展開されている。公民館改修のため、お花見は中止になった。
	瓦田区地域福祉推進委員会	9 回	高齢者対象のミニデイや子育てサロン活動では、内容等について委員より活発に意見を出し合いながら継続して行っている。
東地区	釜蓋区福祉部	12 回	毎月午前中にミニデイ、午後から福祉部会が開催されている。まどか園、せんだんの丘など施設と連携した活動もされている。
	井の口区福祉部会	-	毎月ミニデイ（月陽会）が開催されており、終了後に福祉メンバーで簡単な打合せが行われている。
	中区福祉部推進委員会	6 回	福祉部は偶数月に開催されている。部会では見守り対象者の状況について部員で情報共有をしている。
	乙金区福祉部	12 回	年に数回、保育園児や子ども会との異世代交流サロンが行われている。また、防犯パトロールも福祉部で行っている。
	乙金台区福祉部	12 回	年に3回、介護予防教室の後に区独自のプログラムや出前講座などを企画して実施している。
	乙金東区福祉部	7 回	福祉部会は偶数月に開催されている。区独自の見守りマニュアルがあり、訪問活動が行われている。
	大池区福祉部	10 回	毎回福祉部による手作り企画が正午から14時まで実施され、その後福祉部定例会が行われている。

Ⅱ－事業・活動

北地区	上筒井区福祉部会	10	回	正副部長（福祉委員・民生委員）の進行で、子ども会や食改善からも部会に参加されている。
	下筒井区地域福祉推進委員会	10	回	毎月2回親子サロンと高齢者サロンを開催し、多くの推進委員が掛け持ちで関わっている。
	山田区地域福祉推進委員会	4	回	子育てサロンが毎月開催され、またコミュニケーションマージャンを使ったふれあい会も活発に行われている。
	雑餉隈町区地域福祉推進委員会	-		福祉委員と民生委員が連携して、高齢者サロンや子育てサロンを行っている。活動前後に今後の行事や活動確認が行われている。
	栄町区地域福祉推進委員会	6	回	会長（民生委員）と区長が連携しながら会議を進めている。高齢者サロン、子育てサロンも毎月開催されている。
	仲島区地域福祉推進委員会	12	回	推進委員会では少人数ながら見守り活動、高齢者ミニデイ、子育てサロンなど月に3回前後の事業を行っている。
	畑詰区地域福祉推進委員会	13	回	定例会の時間は参加者の事情に応じて不定期開催とし、ミニデイなど行事の内容も話し合いによって毎回工夫を凝らしている。

7 ミニデイよりあい活動

◇ 各区におけるミニデイ活動状況

地 区	名称等	開催日	参加者数 (1日平均)
牛頸	牛頸あいあい会	3 班で各々年 4 回 10:00～14:00	23
若草	若草あいあい会	3 班で各々年 3 回 10:00～14:00	28
平野台	花水木の会	第 1 水曜日 10:30～14:00	39
月の浦	菜の花会	第 1・第 2 金曜日 10:00～13:00	28
南ヶ丘1	友遊クラブ	第 2 水曜日 10:00～13:30	12
南ヶ丘2	ひまわり会 ミニデイ	第 2 木曜日 10:30～13:30	24
		第 3 木曜日 10:30～13:30	19
つつじヶ丘	ふれあい会	第 2 金曜日 10:00～12:00	26
上大利	音楽サロン等	第 2 金曜日 10:00～12:00	20
下大利	ミニデイ	年 3 回 10:00～13:00	50
東大利	ミニデイ	第 4 火曜日 10:00～13:00	10
下大利団地	ミニデイ	年 5 回 10:00～12:00	26
白木原	ミニデイ	第 4 月曜日 13:30～15:00	20
瓦田	ミニデイ	年 5 回 10:00～13:00	29
釜蓋	ミニデイ	第 4 金曜日 10:00～13:00	25
井の口	月陽会	第 1 月曜日 10:00～13:00	25
中	かたろう会	第 3 月曜日 10:00～13:00	30
乙金	かごめかごめの会 等	年 11 回 10:00～12:00	25
乙金東	しのめ会 等	年 11 回 10:00～14:00	35
乙金台	花草会	年 13 回 10:00～12:30	30
大池	こすもすサロン	第 3 月曜日 10:30～14:00	8
上筒井	音楽サロン、 あじさいサロン	年 6 回	35
		年 2 回 10:00～15:00	
下筒井	ミニデイ ひまわりサロン等	第 4 水曜日 10:00～12:00	16
		第 2・第 4 火曜日 13:20～15:40	8
山田	ふれあいマージャン ミニデイ	第 3 金曜日等 年 3 回	22
雑餉隈町	ミニデイ	年 12 回 10:00～12:00	18
栄町	ミニデイ	年 10 回 10:00～12:30	32
仲島	ミニデイ等	年 9 回 10:00～13:30	9
畑詰	ミニデイ	年 3 回 10:00～13:00	16

各地域で行われるミニデイは、各地域福祉推進委員会の活動の一環として実施されている。
また、各地域の食生活改善推進会と連携しながら食生活に留意した会食会やお弁当の宅配なども行われている。

8 各地区コミュニティ福祉部会の開催状況

各コミュニティで定例的に開催される福祉部会の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各コミュニティの地域福祉活動を支援している。

地区担当(南:馬場 中央:高原・金丸 東:栗津 北:馬場)

(開催回数 30 回)

各地区福祉部会	定例会開催回数	現状と課題
南コミュニティ福祉部会	9 回	4 コミの中でも特に事業が多い福祉部会で、今年は部員のほとんどが新しい部員になり、新たな運営方法で、定例会の回数や行事の見直しが一部なされた。
中央コミュニティ福祉部会	7 回	昨年より番茶の会の会場がふれあいホールになり、これまでの課題であった収容人数について解決できた。また推進委員のつどいではこれまで行ってきた事業の振り返りを各区の推進委員と行うことができ、今後の参考になる意見が寄せられた。
東コミュニティ福祉部会	8 回	東コミュニティ福祉部会は輪番制で毎年担当地区が変わり、各区より民生委員と福祉委員、推進委員の3名が参加している。今年度の番茶の会は会場を変更して、ロイヤルチェスターで初めて開催された。
北コミュニティ福祉部会	6 回	各区より民生委員と福祉委員が1名ずつ参加している。進行は部会長だが、今年度より副部会長が2名になり、新たな役員体制で取り組まれている。

9 コミュニティ福祉部会の活動支援

◇各地区のコミュニティ福祉部会の活動状況

	期 日	部 会 名	人数	内 容
平成 29 年	6月12日(月)	南地区コミュニティ福祉部会	83	福祉レクリエーション講習会
	7月12日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	85	北地区福祉推進委員合同研修会 北地区福祉レクリエーション講座
	7月10日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	45	市出前講座「大野城市での認知症と行方不明者 対策について」
	7月14日(金)	中央地区コミュニティ福祉部会	75	第9回福祉推進委員のつどい ふーちゃんゼミナール「地域福祉活動・社会福祉 協議会・地域包括ケアシステムについて」
	8月23日(水)	南地区コミュニティ福祉部会	99	第18回地域福祉推進委員交流のつどい
	9月9日(土)	中央地区コミュニティ福祉部会	35	中央地区子育て支援親子教室
	9月11日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	20	視察研修(春日警察署)
	9月21日(木)	南地区コミュニティ福祉部会	14	視察研修(北九州市立子育てふれあい交流プラ ザ)
	10月9日(月)	北地区コミュニティ福祉部会	—	MADOKA れくスポ 福祉体験コーナー・幼児コーナー
	11月19日(日)	南地区コミュニティ福祉部会	—	まつり南風
平成 30 年	1月17日(水) 2月9日(金)	南地区コミュニティ福祉部会	60	いきいきボランティア入門講座(計2回)
	2月19日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	35	福祉推進委員交流のつどい 福岡県政出前講座「認知症になっても安心して 暮らせる地域づくり」
	2月27日(火)	南地区コミュニティ福祉部会	65	いきいき健康教室
	3月12日(月)	北地区コミュニティ福祉部会	24	北九州市立子どもの館

◇第34回番茶の会(ひとり暮らし高齢者等のつどい)

各コミュニティ運営委員会(福祉部会)主催、社会福祉協議会共催で実施された。

地 区	期 日	会 場	参加者(対象者数)
南地区	平成29年11月8日(水)	南コミュニティセンター	132名
北地区	平成29年11月10日(金)	ロイヤルチェスター	139名
中央地区	平成29年10月24日(火)	中央コミュニティセンター	190名
東地区	平成29年11月20日(月)	ロイヤルチェスター	117名

◇コミュニティ福祉部会の活動推進費の交付

◇コミュニティ福祉部会連絡協議会役員との定例会 6回開催(偶数月)

4地区コミュニティ福祉部会より2名参加し、各コミュニティの取り組み等の情報交換を行っている。

◇共同基金配分金をとおして各コミュニティの福祉活動に助成

10 ふーちゃんゼミナール 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市全域に、「向こう三軒両隣」を広げる啓発事業として、地域へ講座メニューを提示しながら地域ニーズに応じた地域主体の学びの場としてコーディネートを行いました。筑紫地区人権擁護委員会や筑紫地区薬剤師会等の協力を頂きながら、プログラムのさらなる充実を図ったことにより、昨年度と比較すると、延べ参加人数は若干減少したが、依頼件数はほぼ同数となった。

◇ ふーちゃんゼミナール開催状況

開催日	内容	受講団体名	参加者数	担当職員・協力団体
4月5日(水)	地域福祉推進活動とは？	平野台区福祉部会	24名	馬場
4月6日(木)	介護保険を使うことになったら？	平野台シニアクラブ平寿会	40名	阿相
5月16日(火)	薬の飲み方	畑詰区福祉推進委員会	30名	筑紫薬剤師会
6月18日(日)	子どもの夢を叶えるために	母子寡婦福祉会	20名	合原 井上・金丸
6月23日(金)	地域包括ケアシステムについて	牛頸区地域福祉推進委員会	50名	馬場
7月12日(水)	地域福祉推進活動とは？	乙金台区福祉部	15名	栗津
7月14日(金)	地域福祉推進活動について 社会福祉協議会の仕事、案内等	中央コミュニティ福祉部会	110名	馬場
7月23日(日)	災害に強いまちづくり	畑詰区	40名	高原
8月10日(木)	赤い羽根共同募金とは？	仲島シニアクラブ	20名	岡部
9月28日(木)	もし近くに認知症の方がいたら (対応の入門)	乙金区福祉部	40名	阿相
10月18日(水)	もし近くに認知症の方がいたら (対応の入門)	北地区 民生児童委員協議会	23名	阿相
11月24日(金)	ワンポイント介護術	JA筑紫大野女性部 ゆめカレッジ	100名	福島
11月25日(土)	もし近くに認知症の方がいたら (対応の入門)	乙金区 福祉部	50名	阿相
1月18日(木)	「認知症」を理解する講座	JA筑紫大野城支店	50名	阿相

参加人数延べ 612名

1 1 民生委員児童委員連合協議会活動への助成

◇民生委員児童委員連合協議会は、民生委員法及び児童福祉法に基づき要援護者の見守り等、各区の福祉委員とともに地域福祉のキーパーソンとして活動がなされている。

1 2 北地区総合避難訓練

大野城市北地区コミュニティを対象に、震度 6 強の地震が発生した想定で総合避難訓練が開催された。

社会福祉協議会は市災害対策本部の要請により介護職員を北コミュニティセンターに派遣し、福祉避難所で要支援者等への情報聞き取りなどを行った。

開催日 : 平成 30 年 3 月 11 日(日)
場 所 : 北コミュニティセンター
職 員 : 5 名
役 割 : 福祉避難所内で避難者(要支援者)への情報聞き取りなど

1 3 北地区復興のタベ

市の総合避難訓練と同日に北コミュニティセンターで、東日本大震災、熊本地震並びに九州北部豪雨災害で犠牲となった方々のご冥福と 1 日も早い被災地の復興を祈念する「復興のタベ」が開催された。今年度も昨年度に引き続き中学生による被災地派遣事業報告や、地域の方々による復興支援イベントも行われた。

開催日 : 平成 30 年 3 月 11 日(日)18 時～20 時
場 所 : 北コミュニティセンター多目的室
参加者 : 約 200 名
職 員 : 1 名
主 催 : 大野城市・大野城市教育委員会・北地区コミュニティ協議会・大野城市社会福祉協議会

1 4 平成 29 年度コミュニケーションマージャン貸出状況

貸出地区・団体	貸出期間
南ヶ丘1区福祉部	4月12日
山田区地域福祉推進委員会	4月20日～4月21日
乙金区福祉部	4月27日
牛頸区地域福祉推進委員会	5月8日～5月10日
山田区地域福祉推進委員会	5月18日～5月19日
中区福祉部	6月9日～6月13日

Ⅱ 一事業・活動

牛頸区地域福祉推進委員会	6月13日～6月14日
山田区地域福祉推進委員会	6月15日～6月16日
牛頸区地域福祉推進委員会	7月10日～7月12日
山田区地域福祉推進委員会	7月20日～7月21日
牛頸区地域福祉推進委員会	8月7日～8月9日
山田区地域福祉推進委員会	8月17日～8月18日
牛頸区地域福祉推進委員会	9月11日～9月13日
南ヶ丘1区福祉部	9月12日～9月13日
山田区地域福祉推進委員会	9月14日～9月15日
牛頸区地域福祉推進委員会	10月6日～10月11日
乙金東区福祉部	10月12日～10月13日
山田区地域福祉推進委員会	10月19日～10月20日
牛頸区地域福祉推進委員会	11月13日～11月15日
山田区地域福祉推進委員会	11月16日～11月17日
牛頸区地域福祉推進委員会	12月11日～12月13日
山田区地域福祉推進委員会	12月14日～12月15日
中区福祉部	1月12日～1月15日
牛頸区地域福祉推進委員会	1月15日～1月17日
山田区地域福祉推進委員会	1月18日～1月19日
下筒井区地域福祉推進委員会	1月24日
上大利区地域福祉推進委員会	2月13日
山田区地域福祉推進委員会	2月15日～2月16日
上大利区地域福祉推進委員会	2月23日～2月26日
乙金東区福祉部	3月1日～3月2日
牛頸区地域福祉推進委員会	3月12日～3月14日
山田区地域福祉推進委員会	3月15日～3月16日

平成29年度コミュニケーションマージャン貸出状況・・・延べ32地区

(昨年に比べ延べ10地区貸し出し増)

15 東地区認知症模擬訓練

第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

認知症の方とご家族が抱える問題を他人事としてではなく、自分の問題として捉えていくことができるよう、地域の方に認知症の人とその家族を支えることを理解して頂くとともに、もし認知症の方が行方不明になったとしても、地域全体で捜索する体制づくりと、初動時に地域福祉関係者だけではなく、様々な関係機関と連携を図っていくことを目的に、東地区コミュニティ7区合同で開催された。

日 時：平成30年2月11日(日) 9時～12時15分

場 所：東コミュニティセンター及び7区

参加者：171名

井の口区	10 名
釜蓋区	15 名
乙金区	16 名
乙金東区	10 名
中区	12 名
大池区	12 名
乙金台区	11 名
東地区コミュニティ協議会	11 名
介護サービス事業所	13 名
地域包括支援センター	11 名
春日警察署	1 名
春日・大野城・那珂川消防署出張所	2 名
市役所職員	12 名
社会福祉協議会職員	10 名
視察関係者	25 名
計	171 名

訓練開催まで「東地区認知症模擬訓練会議」を開催し、東コミの職員や7区長、市の関係各課、社協で打ち合わせを重ね、協議などを進めた。また、訓練参加者や地域の方々に認知症について正しく理解していただくことを目的に、12月に「認知症を理解する講座」、1月に「認知症サポーター養成講座」を開催した。

【認知症を理解する講座】

日 時 平成29年12月11日(日) 14:00～15:30

講 師 ゆう心と体のクリニック 院長 瀬戸 裕司 氏

テーマ 「認知症への理解～認知症の方との付き合い方・接し方の上手なコツ～」

◎『東地区認知症模擬訓練報告書』を作成

5. 広報関係

市内を中心とした幅広い福祉情報を掲載した「社協だより(愛称:ふくしんぼ)」を年 6 回発行している。また、ホームページで朝倉市など被災地支援情報やボランティアエントリーシステム等の情報を定期的に掲載し、フェイスブックとツイッターを活用した情報発信を随時行った。

平成 29 年度実績

1 「社協だより」の発行

主 旨 : 広く地域の福祉情報を収集し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めている。

発 行 号 : 163号・164号・165号・166号・167号・168号

2 ホームページ等による情報発信

社協活動、東日本大震災被災地支援情報等を随時更新しながら発信をしている。

3 ツイッター、フェイスブックによる情報発信

ツイッターとフェイスブックを活用しながら、社協の活動や災害ボランティア情報等を積極的に発信し、タイムリーな情報発信を行っている。

6. 法外支援対策事業

火災等の被災者に対し、見舞品や見舞金を支給。豪雨災害により公民館に避難された時は、貸ふとんや簡易ベッドを搬入し支援を行っている。

また、認知症高齢者の徘徊等による行方不明者が発生した時は、大野城市行方不明者捜索マニュアルに沿って、市と連携しながら捜索を行っている。

平成 29 年度実績

なし

7. 身体障がい者福祉対策事業

身体障がい者福祉協会や障害者施設団体連絡協議会等、当事者組織と連携を図りながら、ハンディを持つ人たちの社会参加を支援することを目的とし、各事業に取り組んでいる。

平成 29 年度実績

1 翔んでふれあって 2017（障がい者大運動会）

期 日：平成29年10月15日（日）
場 所：北コミュニティセンター
参 加 者：270名

2 重度障がい者社会参加事業

期 日：平成29年9月14日（木）
場 所：またいちの塩・どうお本店（交通手段：リフトカー2台）
参 加 者：16名（内職員2名、実習生3名）

◎〔重度障がい者社会参加（リフレッシュ）事業参加者アンケート調査を実施〕

3 大野城市身体障がい者福祉協会への支援

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行なうとともに、事業の実施にあたりその活動の支援を行ないました。特に外出が困難な人に対しては、日帰りによるレクリエーションを実施しながら協働で事業を推進した。

4 障害者施設団体連絡協議会への支援

◇毎週土曜日に大野城まどかびあで開設される、ほっとすぽっと「サンサン」の支援。
◇総合福祉センター1 階、交流スペース「ほっとびあ」の運営。
◇運営委員会の機能強化を図るため、毎月1回の定例会を開催し、研修会や各団体・施設との意見交換会などを行う。

8. 知的障がい児者福祉対策事業

ふれあいの旅は、ハンディのある人とボランティアと一泊二日を過ごす事業として、35回目を終了した。夏休みに実施している、ハンディある小中学生を対象とした「小中ふれあいの旅」は、周知活動に努めた結果、参加者が増となった。高校生以上を対象とした秋のふれあいの旅は、今年度は平成28年に発生した熊本地震のつめ跡が今も残っている熊本県を訪ね、ある行き先では地震により仮設で営業している売店で売り上げの一部を復興支援に充てるクッキーを、参加者たちが大勢買っていた。夏っ子クラブは、平成16年から開始した事業であるが、改正児童福祉法(平成24年4月施行)により放課後等デイサービス事業(送迎付き)が創設されたことにより、同事業を実施する事業所が増加したことで、平成28年度は、一日の利用が10名以下となり、平成29年度からは、タイムケア事業へ統合した。

平成29年度実績

1 ふれあいの旅2017(第35回)

期 日 : 平成29年10月29日(土)～30日(日)
場 所 : 熊本県阿蘇方面
参 加 者 : 93名(参加者42名、ボランティア45名、職員6名)
協 力 : 大野城市ボランティア連絡協議会

2 小中ふれあいの旅2017.8

期 日 : 平成29年8月26日(土)～27日(日)
場 所 : 大牟田市動物園・グリーンランド(熊本県)
参 加 者 : 41名(参加者13名、ボランティア24名、職員4名)

3 大野城市手をつなぐ育成会への助成

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行っている。今年度は、県育成会主催事業の開催に向けて支援等を行った。

期 日 : 平成29年10月9日(月)
場 所 : 総合福祉センター3階大会議室
内 容 : 平成29年度インクルーシブ教育研修会
～障害者差別解消法から考えよう～
「ともに学ぶ」を実現するための合理的配慮

9. 高齢者福祉対策事業

核家族化とあわせて、急速にすすむ高齢化により、高齢者世帯の抱える困難な問題や団塊の世代が迎えようとしている定年後の地域社会への参加などが課題である。

平成 29 年度実績

1 大野城市シニアクラブ連合会に対する活動援助

シニアクラブ連合会では、活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいと健康づくりや長年培ってきた知識、経験を地域社会のために生かす取り組みや、通学路における小学生の見守り活動等を展開されている。

職員派遣

期 日 : 5月25日(木)～26日(金)
場 所 : 熊本県南関町ホテルセキア
内 容 : 理事等研修会

期 日 : 6月18日(日)
会 場 : 大野小学校グラウンド
内 容 : 第26回大野城市シニアクラブ連合会ペタンク大会

期 日 : 7月2日(日)
場 所 : 大野小学校グラウンド
内 容 : 第26回大野城市シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会

期 日 : 10月3日(火)
場 所 : 大野城市総合グラウンド
内 容 : 第27回大野城市シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会

2 大野城市シニアクラブ連合会への助成

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行なっている。会員相互の健康保持のための活動や健康医療講演会、訪問見守り活動などがなされている。

10. 子育て支援事業

大野城市に転入して間もない親子や、子育てに悩む若い親の支援、保育所への遊具設置など、子どもたちが安心して遊べる場を提供し、子育てしやすい環境づくりを図っている。

平成 29 年度実績

1 子育て支援事業

支 援 内 容 : 総合福祉センター及び福祉バス利用料免除や遊具の貸出
子育てサークル活動費補助(4 サークル)

登録サークル : 6 サークル(会員数 112 名)

◇登録子育てサークル一覧

サークル名	主な開催場所	活動時間	会員数
Sunny!!	総合福祉センター	不定期(主に土日祝開催)	12 名
ぷちらいおん	中央コミュニティ	毎週火曜日(第 3 火曜休)	16 名
子連れヨガ	乙金公民館	毎月第 2・4 金曜日	40 名
こあらくらぶ	乙金公民館	毎月第 1 金曜日	21 名
ままいる	総合福祉センター	毎月第 1・3 金曜日	15 名
りんごの会	蒸しりんご	不定期(ブログでお知らせ)	8 名

2 「子育てサークルだより」の発行

主 旨 : 身近な子育て情報を発信し、安心して子育てできる環境を目指しています。

発 行 号 : 57 号・58 号・59 号・60 号・61 号・62 号

◇地域福祉推進委員会（福祉部会）が主催する子育てサロン

サロン名	地 域	開催場所	活動時間	平均参加者
あいあいくらぶ	牛頸区	公民館	第1水曜日 10:00～12:00(年10回)	9組
すくすくくらぶ	若草区	公民館	第2月曜日 10:00～12:00(年6回)	6組
うさぎっこ	平野台区	公民館	第1金曜日 10:00～12:00(年8回)	14組
しゃべりば ぽこぽこ	月の浦区	公民館	第4金曜日 10:00～12:00	10組
だっこちゃん広場	南ヶ丘1区	公民館	第1・3木曜日 10:00～11:30	10組
こあら広場	南ヶ丘2区	公民館	第4水曜日 10:00～12:00	13組
あすなろサロン	上大利区	公民館	第4水曜日 10:00～11:30	30組
子育て支援サロン	下大利区	公民館	第2金曜日 10:00～12:00	12組
子育て支援教室	東大利区	公民館	第2月曜日 10:00～11:30	25組
瓦田おひさまサロン	瓦田区	公民館	第4月曜日 10:30～11:30	25組
ひよっこ	中区	公民館	毎月第3水曜日 10:00～12:00	15組
おひさま広場	釜蓋区	公民館	毎月第1・3木曜日 10:00～12:00	12組
わかばっ子	乙金東区	公民館	毎月第1木曜日 10:00～12:00	12組
チューリップサロン	上筒井区	公民館	第2・4水曜日 10:30～11:30	15組
カンガルー広場	下筒井区	公民館	第1・3金曜日 10:00～12:00	12組
子育てにこにこサロン	山田区	公民館	第3火曜日 10:00～12:00	10組
さくらんぼサロン	雑餉隈町区	公民館	第3木曜日 10:00～12:00	10組
子育て支援サロン「らっこ」	栄町区	公民館	第4金曜日 10:00～12:00	6組
親子ふれあい広場	仲島区	公民館	第2・4水曜日 10:00～12:00	15組
はたづめっ子	畑詰区	公民館	毎週木曜日 10:00～12:00	10組

◇たけのこ支援主催のサロン

大野城市へ転入して来る子育て中の親子や他の子育てサークルに登録していない親子に対して、同じ仲間との交流を通して孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境と子育てに関する情報提供の場を目的としてその活動が行なわれている。

内 容	開 催 期 日	会 場	参加者
子育てサロン	平成29年4月5日(水)	総合福祉センター多目的室	7組
子育てサロン	平成29年6月7日(水)	総合福祉センター多目的室	2組
七 夕 会	平成29年7月5日(水)	総合福祉センター大会議室	15組
子育てサロン	平成29年8月2日(水)	総合福祉センター多目的室	8組
講 演 会	平成29年10月4日(水)	総合福祉センター多目的室	18人
子育てサロン	平成29年11月1日(水)	総合福祉センター多目的室	8組
クリスマス会	平成29年12月6日(水)	総合福祉センター大会議室	27組
子育てサロン	平成30年2月7日(水)	総合福祉センター多目的室	3組

3 保育所に遊具等の助成【リズム保育園】

共同募金配分金より毎年1ヶ所私立保育所へ遊具等の助成を(292,459 円)行なっている。

物 品：水槽一式

4 遊具の貸出状況

子どもたちの健やかな成長を支えること、また、地域での遊びの機会を支援することを目的に、社会福祉協議会に登録している子育てサークル及び各区公民館で開催される子育てサロンに遊具の貸出しを行っている。

○平成29年度貸出延件数 86 件

○貸出の多い人気の遊具

1.わくわくハウス(大)	(42 回)
2. ソフトブロック	(33 回)
3. コースター(大)	(23 回)
4.わくわくハウス(小)	(18 回)
4.ドレミマット	(18 回)

11. 児童青少年福祉対策事業

平成 29 度実績

1 福祉教育教材「ともに生きる」配布

対 象 : 福祉教育推進校(大野小学校)
配 布 数 : 小学4年生 167 名

2 大野城市子ども会育成会連絡協議会への助成

共同募金配分金をとおして、子ども会育成会では、「子どもが主役だ・地域で育てよう子どもたち」を主眼に、子どもの健全育成、地域(各単位子ども会)の発展に向けて、活動が展開されている。

3 保護司会への助成

共同募金配分金をとおして、保護司会では保護司信条である社会奉仕の精神をもって、過ちに陥った人たちの更生に尽くされる活動を行われている。

12. 福祉教育

1 小学校等への福祉教育

市内の小中学校、学童から総合的な学習の時間等を利用した福祉教育の依頼があった時に、職員やボランティア、障がい者など当事者の方と一緒に子どもたちに福祉やボランティアについて学習し、子どもたちひとり一人が“自分たちにできることは何か”を考えるきっかけにつながっている。

今年度は昨年と比べ、開催した学校数はほとんど変わらないが、生徒数は3倍近く急増した。

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
平成29年6月12日(月)	大城小学校4年 88名	視覚障がい者の日常生活について アイマスク体験	視覚障がい者1名 民生委員1名 福祉推進委員2名
平成29年9月12日(火)	大利小学校4年 154名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名
平成29年9月19日(火)	大野南小学校4年 146名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員 3 名
平成29年9月20日(水)	大野東小学校3年 131名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員4名

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
平成29年9月21日(木)	大野北小学校4年 97名	アイマスク体験	福祉委員3名
平成29年9月22日(金)	大利小学校4年 154名	アイマスク体験	※職員のみで対応
平成29年9月26日(火)	大野南小学校4年 146名	アイマスク体験	福祉委員3名
平成29年9月27日(水)	大利小学校4年 154名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員1名
平成29年9月29日(金)	大野東小学校3年 131名	アイマスク体験	福祉委員3名
平成29年10月5日(木)	平野小学校3年 120名	アイマスク体験	福祉委員2名
平成29年10月10日(火)	大野南小学校4年 146名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員2名
平成29年10月11日(月)	大利小学校4年 154名	ボランティア活動について	手話ボランティア1名 点訳ボランティア1名 朗読ボランティア2名 福祉委員2名
平成29年10月12日(木)	平野小学校3年 120名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 民生委員2名
平成29年10月18日(水)	下大利小学校3年 48名	校区でのアイマスク体験・ 車いす体験・バリアフリー マップ作成 視覚障がい者の日常生活 について	視覚障がい者1名、 福祉委員1名 民生委員8名 主任児童委員1名
平成29年10月23日(月)	大野南小学校4年 146名	聴覚障がい者の日常生活 について 手話体験	聴覚障がい者1名 手話ボランティア3名 福祉委員3名
平成29年11月6日(月)	大野北小学校4年 97名	視覚障がい者の日常生活 について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成29年11月9日(木)	平野小学校3年 120名	視覚障がい者の日常生活 について	視覚障がい者1名 福祉委員1名
平成29年11月17日(金)	下大利小学校3年 48名	校区に出て アイマスク体験・案内 車いす体験・案内 バリアフリーマップ作り	視覚障がい者1名 身体障がい者3名 施設職員2名 福祉委員2名 民生委員6名 主任児童委員1名
平成29年11月28日(火)	大野北小学校4年 97名	車いすユーザーの日常生活 について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員3名

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
平成29年12月1日(金)	大野北小学校4年 33名	点字学習	点訳ボランティア5名 福祉委員1名
平成29年12月7日(木)	月の浦小学校3年 100名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員2名
平成29年12月8日(金)	大野北小学校4年 64名	点字学習	点訳ボランティア5名 福祉委員2名
平成30年1月18日(木)	月の浦小学校3年 100名	聴覚障がい者の日常生活について 手話体験	聴覚障がい者1名 手話ボランティア3名 福祉委員1名
平成30年1月23日(火)	月の浦小学校3年 100名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成30年2月2日(金)	大野北小学校3年 130名	「ふくし」とは？	福祉委員4名

合計回数 25 回 対象児童数 2,824 名

2 福祉教育基礎研修会 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市内の小中学校の教職員を対象として、子どもたちの主体的な学びにつながる福祉教育とは何か、またその在り方を学ぶとともに、授業実践に活かすことを目的とした研修会を開催した。

昨年と比べ、教職員の参加が8名増加した。

期 日 : 平成29年8月9日(水)
場 所 : 総合福祉センター3階大会議室
参 加 者 : 教職員 23名 民生委員児童委員 2名 福祉委員 24名
 ゲストティーチャー 1名
内 容 : 講 演 「学校と地域・家庭をつなぐ福祉教育
 ～学校・家庭・地域が協働する意義と可能性～」
 講 師 大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 教授 新崎 国広 氏
共 催 : 大野城市教育委員会

◎[福祉教育基礎研修会参加者アンケート調査を実施]

3 大野城市福祉教育推進校の共同事業 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

大野小学校の児童(4年生)を対象に、すべての人々が尊重される社会づくりと、相手の立場に立って考える思いやりの心を育てることを目的に、福祉教育教材「ともに生きる」を活用して福祉教育を行っている。今年度は推進校指定の最終年(2年目)となり、最後はこれまでお世話になったゲストティーチャーや地域の方々を招いて、学年全員で「感謝の集い」を行い、児童からこれまで福祉教育で学んだ成果報告等が行われた。

平成29年 6月 1日(木) 「公民館のおじさんありがとう」 講師:村田 寛 氏(瓦田区副区長)
 平成29年 6月19日(月) 「高齢者の持つ知恵や技能」 講師:杉 正利 氏(おもちゃ病院ドクター)
 平成29年 9月13日(水) 「障がいについて」 講師:地域課 課長 馬場 徹
 平成29年 9月14日(木) 「障害のある人の社会生活」 講師:南里 英治 氏
 平成29年10月17日(火) 「アイマスク体験と車いす体験」
 平成30年 1月23日(火) 「わたしにできることってなんだろう？」
 ①ボランティアセンター見学
 ②ボランティア体験(使用済み切手整理)
 ③ふくしについて
 平成30年 2月14日(水) 「感謝のつどい」 事業成果発表会

13. 父母子福祉対策事業

ひとり親家庭の相談に対する支援(母子会会議での助言や事業等)を行なっています。

平成 29 年度実績

1 大野城市母子寡婦福祉会への支援

共同募金配分金をとおして、大野城市母子寡婦福祉会では、日常における母子家庭の生活の安定等を目指して、自立促進につながる総合的なひとり親家庭の施策を充実するための活動が展開されている。

14. 在宅介護者支援事業

在宅で高齢者等の介護をされている家族を対象に、日帰りのリフレッシュ事業などを開催し、介護者同士のつながりをつくることなどを目的として事業を実施している。

平成 29 年度実績

1 在宅介護者のつどい

主 旨: 市内で在宅介護をしている方等を対象とする。日帰り旅行を通して、意見交換を行う為の交流の場を作り、それぞれの気分転換を図り、今後の在宅介護の在り方について考えていただくことを目的とする。

期 日: 平成30年3月15日(木)

場 所: 佐賀(古湯温泉)

参加者: 20名(内、初参加者2名)

15. 平成29年度共同募金運動

多くの方々にご協力頂いた共同募金は、地域の福祉活動費や福祉団体への助成、社会福祉協議会が行なう様々な福祉事業に活かされている。

平成29年度実績

1 共同募金啓発チラシデザイン募集

内 容 : 啓発用チラシのデザインを、小学校4年生～6年生から募集し、入選作品を社協だより(ふくしんぼ 165 号)の折込みチラシとして全戸に配布。今回、大野小、大野北小、大野南小の児童を対象として募集し、487作品の協力を頂きました。入選作品は、共同募金運動期間中に総合福祉センターや各コミュニティセンターに展示した。

応募件数 : 487件

最優秀作品 : 大野南小学校4年 佐藤充倫さん

2 共同募金運動キャッチフレーズ(標語)募集

内 容 : 一般市民より大野城市独自の募金運動のキャッチフレーズ(標語)を募集し、啓発活動に活用した。

29年度キャッチフレーズ : 「地域を支え 想いをつなぐ 赤い羽根」(松浦千夏さんの作品)

応募件数 : 8件

(単位:円)

	平成29年度		平成28年度	
	目 安 額	実 績 額	目 安 額	実 績 額
戸 別 募 金	15,127,000	14,365,868	14,610,000	14,979,998
企 業 募 金	2,611,000	2,592,284	2,691,000	2,584,929
街 頭 募 金	390,000	303,365	343,000	386,189
職域団体募金	775,000	694,566	824,000	767,111
バッジ等募金	598,000	534,369	605,000	592,451
個 人 募 金	354,000	362,121	402,000	350,552
イベント募金	92,000	16,217	87,000	91,290
自販機売上募金	585,000	929,984	457,000	579,702
募金箱設置協力	352,000	320,067	381,000	348,977
寄付つき商品による募金	56,000	76,532	50,000	55,746
合 計	20,940,000	20,195,373	20,450,000	20,736,945

Ⅱ－事業・活動

3 寄付つき商品

大野城市内の事業所に協力いただき、共同募金（寄付）がついた商品の開発を行った。

商 品 : かりんとう
協力企業 : 有限会社天龍堂製菓(大野城市仲畑)
募 金 額 : 76,532円(4,028 個)

4 支会理事会開催状況 (理事総数 16名)

開催年月日			議 題		出席者
平成 29 年	8月29日	第1回	第1号議案	福岡県共同募金会大野城市支会理事の交代について	16名
			第2号議案	平成29年度共同募金運動実施計画案について	
			第3号議案	平成29年度大野城市共同募金運動キャッチフレーズ選考について	
	3月22日	第2回	第4号議案	福岡県共同募金会大野城市支会理事(1名)の変更について	12名
			第5号議案	平成30年度福岡県共同募金会大野城市支会資金収支予算(案)について	
			第6号議案	企業募金推進会議について	

5 平成29年度赤い羽根共同募金のつどい in おおのじょう

期 日 : 平成29年9月9日(土)
会 場 : 大野城市総合福祉センター3階大会議室
参 加 者 : 122人

6 企業募金推進会議

地 区	期 日	会 場	参加者
中央地区	平成29年11月7日(火)	中央コミュニティセンター2F視聴覚室	15名
東地区	平成29年11月9日(木)	東コミュニティセンター2F視聴覚室	17名
南地区	平成29年11月13日(月)	南コミュニティセンター2F視聴覚室	16名
北地区	平成29年11月14日(火)	北コミュニティセンター2F研修室	15名

16. 福祉機器貸出事業

在宅で生活するために車いすや電動ベッドなどを必要とする人で、公的制度を利用する事ができない場合、短期間の貸出を行っている。

平成 29 年度実績

貸出延件数： 車いす(127 件)、電動ベッド(3 件)

17. 福祉機器リサイクル事業

不要になった電動ベッドや車いすなどの福祉機器を必要としている方に斡旋し、まだ利用可能な福祉機器を活かすことを目的としている。

平成 29 年度実績

登録件数： 1件(電動ベッド1)
 斡旋件数： 1件(電動ベッド1)

18. 移送サービス事業

著しく歩行が困難で車椅子等を利用している人や、寝たきりの状態で既存の交通機関を利用することが困難な人に対して、社会参加のひとつの手段として、リフトカーを運行し、障がい者や高齢者の福祉の増進を図ることを目的としている。より多くの方の需要にこたえることができるよう、日本財団より助成を受け、平成22年2月からは車両を1台追加し、2台の運行でサービスの充実を図った。

平成29年度実績

利用登録者数：45名

移送サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働日数(日)	20	20	22	23	23	22	19	19	17	13	18	19	235	20
利用延人数(人)	41	42	43	34	27	38	33	33	27	19	17	27	381	32

◎ [移送サービス利用者アンケート調査を実施]

19. ハンディキャブ貸出事業

車いすを利用している人や車いすを利用しないと外出が困難な人に、車いすに乗ったまま乗車できる軽車両(ハンディキャブ)の貸し出しを行う事業で、ハンディキャブを利用する事で障がい者や高齢者の外出を容易にし、家族の負担を軽減することを目的としています。また、運転者がいない場合、ボランティアセンターにおいて運転ボランティアのコーディネートを行っている。

平成29年度実績

利用登録者数：41名

運転ボランティア登録者数：9名

ハンディキャブ貸出事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働回数	19	20	22	13	20	18	20	15	15	12	13	18	205	17.0
運転ボランティア稼働人数	4	5	5	2	4	3	6	4	5	4	4	4	50	4.2

20. 福祉食事サービス(市受託事業)

在宅日常生活支援事業として、ひとり暮らしの高齢者、障がいを持った方などに1年365日食事(昼・夕)を宅配しながら安否確認・見守りを行っている。同事業では、ボランティアグループ「ききょう」の作成による絵手紙を毎月添付している。

平成 29 年度実績

利用者数 : 月平均68.23名
 延食数 : 21,185食
 延利用者数 : 818名

※福祉食事サービス利用状況の詳細については、巻末資料「別表5」平成29年度福祉食事サービス利用状況」P 69 参照

21. 福祉バス運行事業

福祉バス利用により、地域住民の福祉活動を増進させるため、福祉バス利用申し込み受付と運行管理を行なう。福祉活動を目的とした視察研修等に利用されています。

平成 29 年度実績

福祉バス運行状況 乗車27人乗り(マイクロバス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
運行回数(回)	5	18	19	8	8	19	24	22	7	1	8	13	153	13
延利用者数(人)	162	406	357	139	132	376	470	463	171	20	153	226	3,075	252

*利用団体状況

(1) 福祉推進委員会、コミュニティ福祉部会、区長会、民児協	70 回
(2) 社協が事業を行う上で必要とする場合	11 回
(3) 行政が事業を行う上で必要とする場合	11 回
(4) 社会福祉団体が福祉活動を行う上で必要とする場合	21 回
(5) 福祉に寄与する団体等で使用目的、及びその活動の内容を 勘案し会長が必要と認めた場合	40 回

22. 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

教育支援費は日本学生支援機構奨学金の拡充等に伴い、他制度につなぐことを目的として学費は原則6ヶ月以内の貸付期間となり、件数は増えたものの支援費は昨年と比較し28%と大幅な減少となった。緊急小口は件数も増え、金額は昨年比32%増となった。

総合支援資金、緊急小口資金の貸付は貸付希望者の負担軽減や支援の方向性を明確にするためにも自立相談支援機関との連携に努めたい。

平成29年度実績

◇生活福祉資金相談・貸付状況(※相談件数は初回相談時を標記)

種 別 / 内 容		相談件数	申込件数	決定件数	貸 付 額
総合支援資金	生活支援費	5	2	1	300,000 円
	住宅入居費	0	0	0	0 円
	一時生活再建費	0	0	0	0 円
教育支援資金	就学支度費	43	24	25	9,270,000 円
	教育支援費	41	26	26	8,114,000 円
福祉資金	生 業	1	0	0	0 円
	技能修得	0	0	0	0 円
	葬 祭	0	0	0	0 円
	転 宅	5	0	0	0 円
	福祉用具購入	0	0	0	0 円
	障がい者自動車購入	1	1	1	1,456,000 円
	住宅改修	0	0	0	0 円
	療養・介護	4	0	0	0 円
	災害援護・国年・エアコン・必需品	3	2	2	125,000 円
	緊急小口資金	76	58	55	3,502,000 円
不動産担保型生活資金		3	0	0	0 円
その他		32	0	0	0 円
合 計		※214	113	110	22,767,000 円

◇臨時特例つなぎ資金相談・貸付状況

種 別 / 内 容	相談件数	申込件数	決定件数	貸 付 額
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0 円
合 計	0	0	0	0 円

23. 大野城市生活支援体制整備事業(市受託事業)

平成28年に設置した生活支援体制整備研究会で協議を重ね続けた結果、市全域を担当する第一層協議体(通称:もやいネット大野城)が設置された。その中において、もっと市民に生活支援体制整備事業への理解を求めるため、各コミュニティごとに市民啓発セミナーを行い、地域包括ケアシステムや生活支援コーディネーターの役割等を、講演と寸劇の2本立てで行った。

また社会福祉協議会の他、基幹型地域包括支援センターと4地区の地域包括支援センターに配置されている生活支援コーディネーターは、これまで調査し続けてきた各地域の社会資源を整理し、1冊の冊子にまとめた「大野城市暮らしのもやい帳」がほぼ完成した。今後は幅広い活用に向けて内容の詳細部分の精査や情報更新を行っていく。

1 大野城市生活支援体制整備研究会の開催

大野城市が目指す地域の姿を共有し、地域包括ケアシステムについての啓発活動や、第一層協議体の設置を目指した研究を行った。

開催回数:6回

研究会委員:11名

- ・区長(1名)・民生委員(1名)・福祉委員(1名)・介護保険事業者連絡協議会(1名)
- ・社会福祉法人(施設)(1名)・シニアクラブ(1名)・ボランティア連絡協議会(1名)
- ・シルバー人材センター(1名)・医療関係者(1名)・企業(1名)・識見を有する者(1名)

内容:大野城市が目指す地域の姿について、第一層協議体設置に向けて、市民啓発セミナーについて

開催日	議 題
第1回 平成29年 5月10日(水)	大野城市コミュニティ構想ver2 について
第2回 平成29年 7月14日(金)	大野城市出前講座 みんなが主役のまちづくり(コミュニティ構想について)
第3回 平成29年 9月28日(木)	大野城市における協議体の設置にむけて
第4回 平成29年11月30日(木)	第一層協議体の設置に向けて 市民啓発セミナーについて
第5回 平成30年 2月 1日(木)	第一層協議体の設置に向けて 市民啓発セミナーについて
第6回 平成30年 3月26日(月)	市民啓発セミナーについて 社会資源冊子「大野城暮らしのもやい帳」について 第一層協議体「もやいネット大野城」の今後の進め方について

2 生活支援コーディネーター連絡会の開催

地域の社会資源調査を行い情報の共有や整理、また、生活支援コーディネーター間の情報交換を行っている。

開催回数:12回

内容：市内の社会資源調査及び社会資源の整理、啓発資料の作成、市民啓発セミナーの寸劇

3 生活支援体制整備事業市民啓発セミナー開催

一般の市民に生活支援体制整備事業できるだけわかりやすく説明するため、講演と寸劇の2本立てで、4地区のコミュニティごとに市民啓発セミナーを開催した。

地区	日にち	参加者数	内 容
南地区	平成30年3月3日(土)	77名	①講演「安心をつくり暮らしを支える地域づくり」 講師:筑紫女学園大学教授 山崎 安則 氏 ②寸劇「大事なご近所さん」 ・基幹型包括・各地区包括の生活支援コーディネーター、社会福祉協議会職員
中央地区		72名	
東地区	平成30年3月24日(土)	58名	
北地区		66名	

職員が出向いて、地域団体等への地域包括ケアシステムについての勉強会を開催した。

地域団体	開催日	参加者数	内 容
下筒井ケア会議	平成29年5月18日(木)	12名	「住んで良かった 我がまち大野城を目指して ～地域包括ケアシステムの 推進～ (生活支援体制整備事業を中心として) ～皆さまに知って頂くために～」
下大利区愛のネットワーク福祉推進委員会	平成29年5月25日(木)	28名	
シニアクラブ連合会 理事等研修会	平成29年5月25日(木)	70名	
民協 生活福祉部会	平成29年5月26日(金)	27名	
平野台シニアクラブ平寿会	平成29年6月1日(木)	35名	
下筒井区 福祉部推進委員 定例会	平成29年6月7日(水)	20名	
栄町ケア会議	平成29年6月16日(金)	16名	
白木原シニアクラブ福寿会 定例会	平成29年6月19日(月)	31名	
牛頭区地域福祉推進委員・ 福祉協力員合同研修会	平成29年6月23日(金)	31名	
仲島区シニアクラブ定例会	平成29年7月10日(月)	16名	
中央地区地域福祉推進委員 のつどい	平成29年7月14日(金)	80名	
民協 生活福祉部会	平成29年8月16日(水)	33名	
シニアクラブ連合会	平成29年11月28日(火)	78名	

4 社会資源冊子「大野城市暮らしのもやい帳」の作成

生活支援コーディネーターが地域にある施設や団体、公民館活動など様々な社会資源を1つ1つ調査し、その内容を1冊にまとめた社会資源冊子「大野城市暮らしのもやい帳」を作成した。

今後はさらに内容の更新や中身を精査しながら、この冊子の活用方法等について第1層協議体「もやいネット大野城」にも諮りながら検討する。

24. 被災地支援活動

大野城市社会福祉協議会では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災にて被災し、地震、津波、原発事故、風評の被害がある福島県南相馬市を継続的に支援している。“忘れない”を合言葉に寄り添い、支援を続けている。

平成 29 年度実績

1 熊本復興応援の旅

昨年まで東日本大震災の発生以降、「東北応援の旅」を5回開催してきたが、今年度は、昨年福岡県と隣接する熊本・大分で大きな地震があり、熊本を応援することを目的に、「熊本復興応援の旅」として企画した。

近距離で行ったことで、参加者は昨年に比べ14名増えた。

企画名：「熊本復興応援の旅」

期 日：平成29年7月3日（月）～4日（火） 1泊2日

行き先：（1日目）熊本城～益城町社会福祉協議会

（2日目）高森田楽の里～南阿蘇トロッコ列車

参加者：41名（うち職員2名、添乗員1名）

2 被災地応援「福島県応援ショップ」の運営支援

総合福祉センター1階ロビーにて、「福島県応援ショップ」として福島県南相馬市の特産品等を中心に販売を行っている。購入を通じた支援を行いながら、「つながり」を大切にし、息の長い応援を継続する。

24-1 九州北部豪雨における被災地支援活動

大野城市社会福祉協議会では、平成29年7月5日・6日に発生した九州北部豪雨にて被災した被災地の支援活動を行いました。

平成 29 年度実績

1 朝倉市災害ボランティアセンター及び東峰村（宝珠山）災害ボランティアセンターへの職員派遣

九州ブロック各県・政令市社協による熊本県内の災害ボランティアセンター運営等支援が始まるまでのつなぎとして、大野城市社会福祉協議会は、運営支援者として朝倉市災害ボランティアセンター及び東峰村（宝珠山）災害ボランティアセンターへ入った。

II 一事業・活動

支援場所	活動日	人数
朝倉市災害ボランティアセンター	7月 9日(日)	2名
東峰村(宝珠山)災害ボランティアセンター	7月 9日(日)	2名
朝倉市災害ボランティアセンター	7月10日(月)	1名
朝倉市災害ボランティアセンター	7月11日(火)	2名
朝倉市災害ボランティアセンター	7月12日(水)	1名
朝倉市災害ボランティアセンター	7月13日(木)	1名
朝倉市災害ボランティアセンター	7月14日(金)	1名
東峰村(宝珠山)災害ボランティアセンター	7月15日(土)	4名
朝倉市災害ボランティアセンター	7月16日(日)	3名
朝倉市災害ボランティアセンター	7月23日(日)	1名

2 被災地支援義援金

市民の皆さまから預かりした多額の義援金は、被災地に設置された義援金配分委員会を通じて被災者へ分配される予定である。

熊本地震,大分地震	316,180 円
福岡大雨災害	1,200,310 円
大分県大雨災害	5,805 円
合 計	1,522,295 円

(※平成 29 年度に送金した金額 平成 30 年 3 月 31 日現在)

Ⅲ. ボランティアセンター事業

ボランティア活動推進 …………… 43

声の広報 …………… 49

25. ボランティア活動推進

ボランティア活動に関する相談、ボランティアコーディネート件数ともに昨年度より増えており、朝倉市を中心とした災害ボランティアやボランティア保険の相談が多くを占めている。ボランティアエントリーシステムについては、引き続きエントリーするプログラムの情報収集・開発の充実に努めなければならない。

平成 29 年度実績

1 ボランティア活動相談・コーディネート状況

ボランティア活動に関する相談件数 : 277件

①活動希望、情報収集に関する相談件数 : 259件

②ボランティアニーズに関する相談件数 : 18件

ボランティアコーディネート件数 : 229件

コーディネートを行ったボランティア活動内容

- ・高齢者施設等での活動(マジック手品、将棋ボランティア)
- ・地域活動センターでのお菓子作りボランティア
- ・学童保育所での活動(マジック手品、バルーンアートボランティア、手話教室)
- ・福祉推進委員会が行うミニデイでの活動(マジック、音楽演奏)
- ・ボランティアグループでの活動(傾聴、朗読、おもちゃの図書館、おもちゃ病院)
- ・福祉団体事業での活動(販売補助、イベント) ・運転ボランティア
- ・障がい児者とのふれあいの旅ボランティア ・災害ボランティア
- ・ほっとすばっとサンサン販売補助ボランティア ・PTA 実験教室ボランティア
- ・ひとり親家庭学習支援ボランティア ・切手整理ボランティア ・新規ボランティア団体登録
- ・地域子育てサロン (※ボランティア保険手続き 234件)

2 配信システムによるボランティア情報等の提供

携帯電話やパソコンへの配信システムを構築(グループ別にて配信可)し、ボランティアセンター登録者や福祉委員の方々へ情報の提供を行っている。

登録者数:124名 配信件数:2件

内容:災害ボランティアバス運行事業参加者募集、ボランティアエントリーシステム案内(ハンディを持つ方たちとのレクリエーションボランティア募集)

3 ボランティアセンター運営委員会開催：4回

運営委員（4名）：民生委員経験者、ボランティア連絡協議会、障害者団体連絡協議会、有識者各1名

開催年月日			議 題	出席者
平成29年	4月26日	第1回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて	4名
	7月25日	第2回	・ボランティアエントリーシステムについて ・災害ボランティアグループの組織化について	4名
平成30年	1月5日	第3回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて ・災害ボランティアグループの組織化について	4名
	3月27日	第4回	・おおのじょうボランティアのつどい振り返り ・平成30年度ボランティアセンター事業計画について	4名

4 おおのじょうボランティアのつどい 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

ボランティアセンターを拠点に活動しているテーマ型ボランティアと、各地域で活動している地縁型ボランティアが一堂に会し、情報提供・情報交換、情報共有の充実を図るため、おおのじょうボランティアのつどいを開催した。地縁型ボランティアやテーマ型ボランティアの対話の場をつくり、お互いのことを知ることから始めることを目的としている。また、この日は東日本大震災発生から7年を迎える日であり、14時46分には参加者全員で黙祷を行った。

開催日時	平成30年3月11日（日） 13:30～16:00
場 所	大野城まどかびあ多目的ホール
参加人数	95名
ファシリテーター	加留部 貴行 氏
テーマ	「ボランティアの価値ってなんだろう」
対象者	ボランティアセンターに登録しているボランティアグループ及び 個人登録ボランティア、地域福祉活動ボランティア

5 ①災害ボランティアフォローアップ講座 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

災害ボランティア養成講座を受講された方を対象に、フォローアップ講座を行った。

開催日時	平成29年11月15日(水) 19:00～20:30
参加人数	災害ボランティア養成講座受講者:7名 社協職員:5名
内 容	・報告 九州北部豪雨災害支援について ・グループワーク ①九州北部豪雨災害で自分が取り組んだこと ②近年多発する災害に向けて

②災害ボランティアグループ事前会議 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

災害ボランティアの組織化を目的として関心の高い参加者を対象に、事前会議を2回開催した。

開催日時	平成30年1月24日(水) 19:00～20:30
参加人数	災害ボランティアグループメンバー:9名 社協職員:2名
内 容	・グループワーク 「1年目に取り組んでみたいこと、学びたいこと」 ・グループの名称について 災害ボランティア「ONOJO」に決定

開催日時	平成30年3月15日(木) 18:00～19:30
参加人数	災害ボランティアグループメンバー:11名 社協職員:3名
内 容	・平成30年度の活動計画について ・グループの定例会について ・非常食の試食

6 被災地での災害ボランティア活動希望者への情報提供・コーディネート等

大野城市民の方々に被災地においてボランティア活動を希望される方への情報提供や、ボランティア保険の手続きを行い、被災地にて注意すべきアドバイス等を行いながら送り出しを行った。

被災地での活動人数：393名（大野城市社協にて保険手続きを行われた方の人数）

7 災害支援ボランティアバスの運行事業

ボランティアを募集して社協福祉バスを運行し、朝倉市災害ボランティアセンターを通して被災地にて災害支援ボランティア活動を行った。

活動日	人数	活動内容
9月26日(火)	11名	個人宅敷地内の土砂だし、家屋内の片付け
9月30日(土)	12名	個人宅床下の泥だし、廃棄物運搬等

8 ボランティアエントリーシステムの構築

第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

ボランティア活動へ気軽に「エントリー（応募）」することができる仕組みを創り、ボランティア活動メニューを開発することにより、新たな人材がボランティア活動を始める機会を提供するためのボランティアエントリーシステムの構築に向けて、市内のボランティアの受け入れを行っている福祉施設やボランティア団体にボランティアエントリーシステムの趣旨説明を行い、及び気軽にできるボランティア活動メニューづくりを行った。また、ホームページから簡単に申込ができるようなツールとしてのシステム構築を行い、試行的に運用を行いボランティアの募集を行った。今後は随時気軽に参加できるようなボランティア活動メニューを増やしていかなければならない。

募集したボランティア活動メニュー

- ・九州北部豪雨災害支援ボランティア
- ・ウォーキング付き添いボランティア
- ・ひとり親家庭のための学習支援
- ・スポーツ運動補助ボランティア
- ・おやつ作りボランティア
- ・ふれあいの旅ボランティア説明会

9 ボランティアセンター登録

★ボランティア登録者数（団体登録者 674 名 個人登録者 213 名）

★ボランティア団体登録状況

総合福祉センター1階のボランティアセンターを拠点に活動しているボランティアグループの支援を行うとともに、ボランティアセンターはボランティアのたまり場として、なくてはならないスペースであり、コピー機や大型プリンターは各種団体や地域の利用も増えている。また、ボランティア連絡協議会は、ふれあいの旅等において常に協働するとともに、共同募金配分金をとおしてその活動への助成を行っている。

大野城市ボランティア連絡協議会 構成数10グループ

グループ名	活動内容	会員数
大野城手話の会	手話講習会の開催、手話通訳者の派遣、聴覚障がい者との交流会	30 名
点訳サークル あゆみの会	点訳講習会の開催、各種点訳活動、視覚障がい者との交流会	12 名
朗読の会 文鳥	朗読講習会の開催、社協だよりや図書の吹き込み、視覚障がい者との交流会	28 名
スニーカー	手をつなぐ育成会の支援、知的ハンディを持つ方々とのレクリエーション活動	12 名
介護ボランティア ききょう	特別養護老人ホームでのお手伝い、食事サービス利用者への絵手紙づくり	16 名
おもちゃの図書館 あいあい	障がいを持つ子どもも持たない子どもも共に遊ぶおもちゃの図書館の開館、手作りおもちゃの作成	18 名
拡大写本 虹の会	弱視の方から要請のある図書の拡大写本づくり、視覚障がい者との交流会	8 名
車いすダンス アミーゴス	車いすダンスの普及活動、車いす利用者との交流会	55 名
運転ボランティア むつわ	社会福祉協議会のハンディキャブ貸出事業における車両の運転	8 名
大野城要約筆記の会 ぴあ	聴覚障がい者への文字による同時通訳活動、要約筆記奉仕員養成講座の開催	11 名

計 198 名

ボランティアセンター登録グループ 22グループ

グループ名	活動内容	会員数
まちづくり懇談会	市民サイドからのまちづくり研究やふるさとづくり活動	14名
NPO法人 アジア女性センター	子どもと女性の人権を守るためのサポート事業、海外支援、交流事業、提言、ネットワーク事業(調査、研究)	139名
グループファンタジア	施設や敬老会等でのマジックボランティアやマジックによる各種団体との交流活動	10名
創人エイサー守破離太鼓	施設や老人会、地域でのイベント等での演舞	22名
国際交流協会	コミュニティ活動等を活かした国際交流の推進	103名
子育てサポーターたけのこ支援	大野城市に引っ越してきた親子等を対象に子育てサロンを開催	10名
おもちゃ病院大野城	壊れたおもちゃの修理	4名
花の芽クラブ	障がいのある人となない人が一緒に楽しめる風船バレーボールを通しての交流活動及び普及活動	21名
ボランティアグループ りんごの会	近隣の公民館や福祉施設等で唄や踊り、楽器演奏などを通しての慰問活動	5名
大野城棋聴ボランティア「ダンボ」	大野城市内の施設等における傾聴ボランティア活動	12名
大野城学習支援室かぼちゃ	生活困窮家庭の子どもに対する学習支援や保護者への進学助言を行う	5名
おやのかい MIRAI	発達障害の子どもや保護者、発達障害に理解ある者が会員となり、発達障害の子どもたちが安心して就労できる企業や事業所を訪問して増やす活動	20名
にほんご教室フレンズ	留学生等の外国人に日本語を教え、学習することをとおして国際交流を図り会員相互の理解を深める活動	7名
演歌しゃくなげ	施設等においてギターや三味線、大正琴などの楽器を使って季節の童謡や歌謡曲、ナツメロ音楽を演奏	5名
マジック雅	マジックを通じた地域の方々との交流や、地域社会の活性や社会福祉の情操を目指した活動	15名
LaLaLa 音楽レクリエーション	介護予防や認知症予防のための音楽療法やレクリエーションの要素を取り入れた音楽や、子どもを対象にした音とリズムと歌を楽しむ活動	8名
ららら♪ シニアネットオーケストラ	施設等での童謡・唱歌・ナツメロなどの昔懐かしい曲の生演奏活動	20名
いきいき健康レクササイズ	レクリエーションの要素を取り入れた椅子に座ったままできる運動(エクササイズ)や昔懐かしい歌を取り入れた運動	6名
Blue bear project	老人ホームでのふれあい演奏会や学校等でのライブ演奏	5名
なんくる〜ず	デイサービスや老人ホーム、公民館等で三味線を使った沖縄民謡や童謡等の演奏	12名
「ハレハレ〜hare＊hale〜」子どもの居場所づくりサークル	様々な理由で学校に行けない、または自分の居場所がないと感じる子どもの居場所をつくる活動	7名
災害ボランティア「ONOJO」	災害ボランティアとして必要な知識やスキルを学びながら、支援の輪を広げる活動と災害時支援活動	26名

計 476 名

26. 声の広報

目の不自由な方や寝たきりの方に、青年団体連絡協議会が市の広報を、朗読の会「文鳥」が社協だより、季節のたより『紙飛行機』、希望図書等をカセットテープに吹き込み、自宅に届けている。

平成 29 年度実績

回 数:	24 回
登録利用者数:	12 名

IV. 総合相談事業

総合相談事業 …… 50

27. 総合相談事業

地域住民の悩みを一緒に考え、よりよい解決策をさがし、問題解決を図るため、弁護士による専門相談員や常勤相談員による助言を行う場を総合福祉センター内に設けている。

平成 29 年度は、地域住民の身近な地域で相談事業を実施するため、新たな取り組みとして 4 地区のコミュニティセンターにおいて、弁護士による相談事業を実施した。

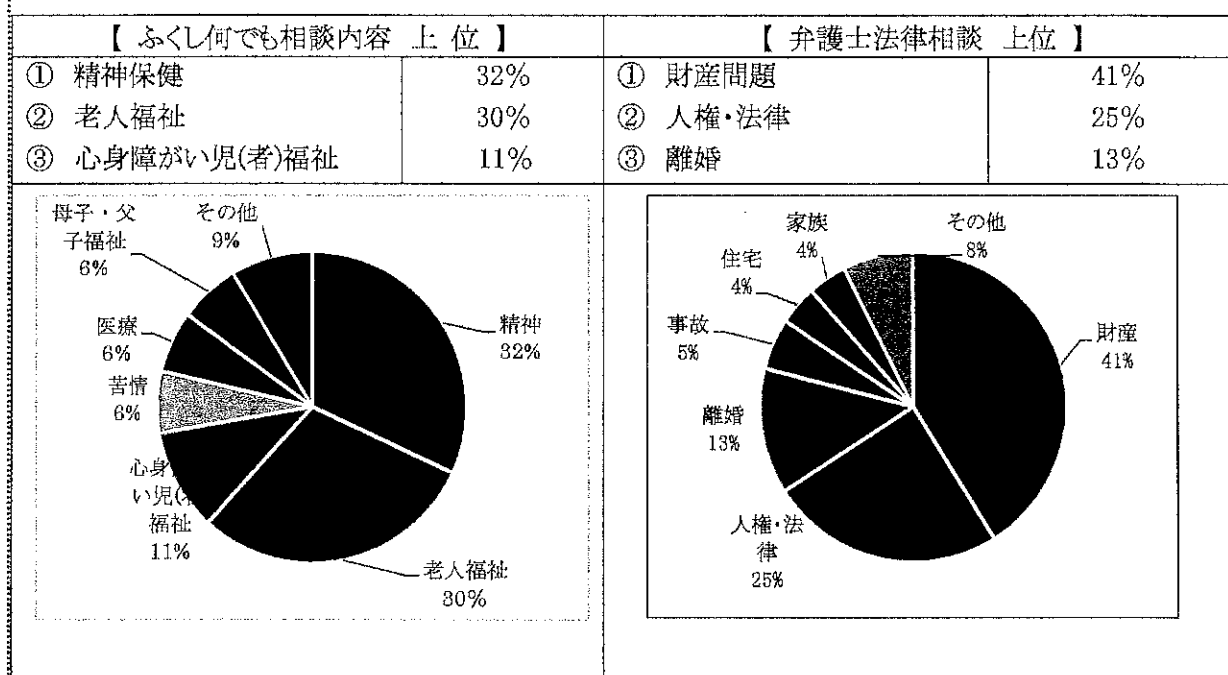
◇市の広報掲載内容

問社会福祉協議会 ☎(572)7700 ふくし何でも相談 福祉の各種相談を随時受け付けています。 電話相談可 ☎(501)3311 ※正午から午後1時までは昼休み、 土・日・祝日・年末年始は休み	弁護士による電話法律相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談 ☎(501)7830 ☎ 毎月第2木曜日午前10時～正午 (受付は午前11時40分まで)	弁護士による心配ごと相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談 ☎ ◇第1～3火曜日午前10時～正午 ◇第4火曜日午前10時～午後3時 ※受付は午前9時～、 午後0時45分～ 事前予約可(午前11時～正午)
--	---	---

平成 29 年度実績

1 相談内容・状況等

相談員：	社協担当職員1名、弁護士6名	協力：	民生委員4名
内容：	心配ごと相談(第1・2・3・4火曜日)	209 件(58 回)	
	電話法律相談(第2木曜日)	34 件(12 回)	
	ふくし何でも相談(月～金曜日)	62 件	
	南コミュニティセンター法律相談	7 月 22 日 4 件	
	中央コミュニティセンター法律相談	7 月 29 日 3 件	
	東コミュニティセンター法律相談	8 月 5 日 4 件	
	北コミュニティセンター法律相談	8 月 19 日 3 件	
	ふくしフェスティバル法律相談	11 月 26 日 4 件	



* 高齢社会を背景とした家族問題や経済の不安定からの生活不安が引き金になっておこる相談事例がふえている。また、実際に弁護士に委任した方がよいと思われる複雑な案件も多くなっている。場合によっては、傾聴・アドバイスにとどまらず他の機関が行っている支援へと確実につなぎ、相談者のよりよい生活へむけて尽力している。

2 相談員懇談会の開催

市民が活用しやすい相談事業のあり方を協議し、改善点の確認を行い、相談事例の情報交換を行った。

期 日	参 加 者
平成 30 年 1 月 31 日	弁護士 6 名 相談関係職員

3 地域のニーズに応えるための協議・確認事項

他機関においての各種相談との差別化を図り、法律相談以前の身の上相談を含む幅広い相談に対応している。広報についても担当弁護士と連携を図りながら積極的に取り組み、地域の方に広く利用していただけるよう環境づくりに努めている。

V. 介護サービス事業

介護サービス事業 …… 52

28. 介護サービス事業

介護サービス事業については、地域福祉活動の視点をもって社協らしい介護サービス事業を展開すべく職員の資質向上に努めた。

区分	施策	活動内容
介護保険事業	指定居宅介護支援事業	介護支援専門員によるケアプランの作成(要介護及び総合事業)
	指定訪問介護事業	訪問介護員が居宅に伺い、身体介護・生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 7:00～24:00
	指定訪問入浴介護事業	看護職員等が居宅に移動入浴車で伺い、浴槽を搬入し入浴介護サービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～21:00
総合事業	訪問型サービス国基準	訪問介護員が居宅に伺い、主に生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～17:00
	訪問型サービスA	訪問介護員が居宅に伺い、主に生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～17:00
受託事業	地域生活支援事業	平成18年10月より新設された障がい福祉サービスの一部 ・移動支援 移動に支援を必要とする方(視覚障がい者等)を対象とした移動支援サービス。屋外での移動が困難な障がい児(者)に対して、学校や通所施設への送迎や外出の訓練等の際に、学校等へ送迎も行います ・訪問入浴サービス 身体障がい者で自力の入浴ができない方への訪問入浴サービス
	訪問入浴サービス事業	身体障がい者の方(65歳未満)・介護保険外の高齢者の方への移動入浴車による入浴介護サービスの提供
	タイムケア事業	障がいのある18歳以下の子どもに放課後の活動場所を提供するとともに、保護者等の一時的休養を確保するための一時預かり事業 ◇すこやか交流プラザ等におけるタイムケア事業 〈実施〉 火曜日 15:00～18:30 第1・第3土曜日、第4日曜日 9:30～17:30 冬休み、春休み、夏休み期間中の火、金曜日 9:30～17:30 ◇特別支援学級が設置されている、小中学校内における(ヘルパー等を派遣する)タイムケア事業 〈実施〉 長期休暇中や学校休校日を除く月～金曜日 学校終業時～17:00
	赤ちゃんホームヘルプサービス	基本的には生後12週間以内の赤ちゃんのいる家庭を対象に、日常支援が必要な場合にホームヘルパーを派遣する
	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	生後4か月未満の乳児のいる家庭に訪問し、育児に関する不安や悩みの聴取・相談、親子の心身の状況や養育環境の把握、子育て支援に関する情報提供を行う

区分	施策	活動内容
障害者福祉サービス	居宅介護	ホームヘルプサービスと呼ばれているサービスで、自宅で入浴・排泄・食事などの介護を行います
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者で、常に介護が必要な障がい者に、自宅で入浴・排泄・食事の介助を行います。外出時の移動を助け、移動中の介護も行います
	行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な障がい者に、行動するときの危険を回避する援助や外出時の移動の補助を行います
	同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する者に、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排泄・食事等の介護等を行います
	指定特定相談支援 指定障害児相談支援	サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者・児の自立した生活を支え、障がい者・児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行います
制度外	ほっとサポート	①制度上(障害者総合支援法、介護保険等)のホームヘルパー派遣において制限をうける人 ②ホームヘルパーの派遣をうけないと日常生活に支障をきたす人を対象とするサービス。地域の中で安心して暮らせるように、日常生活に必要な介護等の支援を行うことを目的とした大野城市社会福祉協議会独自の事業

平成 29 年度実績

1 介護サービス状況

巻末資料「別表 2」平成 29 年度 介護サービス状況」P 64～66 参照

2 制度外介護サービス状況

巻末資料「別表 3」ほっとサポート状況」P 67 参照

3 介護サービス研修会

巻末資料「別表 4」平成 29 年度 介護サービス研修会開催状況」P 68 参照

4 実習生受け入れ状況

◇平成 29 年度 訪問介護実習生受け入れ状況

団体名	期 間	人数
麻生医療福祉専門学校	8/3～8/4	1
	8/21～8/22	1
	8/24～8/25	1
合 計		3

平成 29 年度 介護支援専門員実務研修実習受け入れ状況

団 体 名	期 間	人数
福岡県保健医療介護部	平成 30 年 3 月 14 日 23 日 26 日、27 日 4 月 4 日 5 日 7 日	3

VI. 総合福祉センター



総合福祉センター	54
----------------	----

29. 総合福祉センター

総合福祉センター1階の交流スペース「ほっとぴあ」、及び「ボランティアセンター」は、毎日多くの市民の方に利用していただいている。また、2階、3階会議室等においては、机等の器具の買い替えも終わり、計画的にセンター内の設備等の改修工事を行い、より利用しやすいよう環境整備を図っている。

今後も、市民に開放された、誰もが利用しやすい福祉センターとして、また本来の目的である福祉活動の拠点として運営していく。

平成29年度実績

	社 協		①福祉団体等		②行政関係		一般有料		合 計	
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	19	238	122	1,567	10	346	24	653	175	2,804
5月	17	139	115	1,543	7	98	28	953	167	2,733
6月	19	233	123	1,660	7	66	25	1,216	174	3,175
7月	20	227	120	1,636	11	434	20	702	171	2,999
8月	23	423	105	1,428	8	182	21	991	157	3,024
9月	26	481	121	1,926	10	287	22	793	179	3,487
10月	17	396	116	1,531	8	252	38	1,519	179	3,698
11月	22	290	108	1,428	8	112	38	1,403	176	3,233
12月	19	211	99	1,417	9	200	23	799	150	2,627
1月	17	298	92	1,240	8	186	43	1,509	160	3,233
2月	26	334	113	1,606	9	162	39	1,245	187	3,347
3月	24	229	125	1,477	15	356	26	767	190	2,829
合計	249	3,499	1,359	18,459	110	2,681	347	12,550	2,065	37,189

◇平成29年度 総合福祉センター利用状況 ①福祉団体等

	福 祉 団 体 等						合 計	
	ボランティア		福祉関係		その他			
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	82	1,056	27	422	13	89	122	1,567
5月	81	979	18	397	16	167	115	1,543
6月	87	1,101	23	453	13	106	123	1,660
7月	90	1,108	18	458	12	70	120	1,636
8月	75	884	21	501	9	43	105	1,428
9月	83	1,027	29	857	9	42	121	1,926
10月	89	1,166	18	356	9	42	116	1,564
11月	83	1,012	16	372	9	44	108	1,428
12月	78	1,060	14	319	7	38	99	1,417
1月	71	910	13	288	8	42	92	1,240
2月	81	1,038	22	502	10	66	113	1,606
3月	96	1,100	19	332	10	45	125	1,477
合計	996	12,441	238	5,257	125	794	1,359	18,492

◇平成29年度 総合福祉センター利用状況 ②行政関係

	行政関係								合 計	
	福 祉		教 育		総 務		その他			
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	8	334	1	10	0	0	1	2	10	346
5月	3	74	2	20	0	0	2	4	7	98
6月	2	30	4	32	0	0	1	4	7	66
7月	5	115	2	20	3	297	1	2	11	434
8月	4	60	3	120	0	0	1	2	8	182
9月	6	140	3	145	0	0	1	2	10	287
10月	5	90	0	0	0	0	3	162	8	252
11月	6	110	0	0	0	0	2	12	8	122
12月	6	178	0	0	0	0	3	22	9	200
1月	3	60	2	104	0	0	3	22	8	186
2月	5	80	1	60	0	0	3	22	9	162
3月	9	191	1	90	0	0	5	75	15	356
合計	62	1,462	19	601	3	297	26	331	110	2,691

VII. 権利擁護事業

日常生活自立支援事業	 56
法人後見事業について	 58

30. 日常生活自立支援事業 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

社会福祉法に基づき、認知症の方、知的障がい者、精神障がい者のなかで判断能力が不十分なため日常生活が困難な方に対して、自立した地域生活が送れるよう、社協に生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や日常的金銭管理、書類等(預貯金通帳)の預かり等のサポートを行っている。利用者は、年々増加の一途をたどっており、マンパワーの確保が急務となっている。

本会として、日常生活自立支援事業は、市民参加が難しい権利擁護事業において、唯一市民参加が可能な事業として位置づけし、地域福祉関係者に生活支援員を担っていただき、段階的に増員をはかり平成 29 年度は新たに4名が生活支援員として加わった。

平成 29 年度実績

◇新規相談件数 :18 名 (男性 10 名 女性 8 名)

類型内訳:認知症 8 名 知的 2 名 精神 7 名 重複(知的・精神)1 名

◇利用者数 :25 名 (男性 14 名 女性 11 名)

類型内訳:認知症 14 名 知的 2 名 精神 7 名 重複(知的・精神)1 名 その他1名

◇生活支援員 援助活動実績表 生活支援員12名(内、担当社協職員 3 名)

	件数	回数	終了	開始
4月	25	32	1	1
5月	23	33	1	
6月	23	37		
7月	20	29		1
8月	25	34		
9月	22	33	2	
10月	21	31	1	1
11月	23	30		1
12月	22	36	1	1
1月	21	32		1
2月	24	35		
3月	22	33	2	
合計	271	395	8	6

◇生活支援員会議

開催日	内容
4月26日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・生活支援員の役割と職務について
6月28日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・介護保険制度の概要について（大野城市長寿支援課）
8月30日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・生活支援員初任者研修報告 ・意見交換
10月23日(月)	・日常生活自立支援事業の現状について ・障がいに対する理解と対応、対人援助職のメンタルヘルス（筑紫保健福祉環境事務所）
12月20日(木)	・日常生活自立支援事業の現状について ・支援員としてのファーストコンタクト
2月28日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・生活支援員の増員計画について ・次年度計画について

31. 法人後見事業について 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

平成 29 年度実績

1 第1回成年後見運営委員会の開催

期 日 : 平成 29 年 9 月 15 日
 場 所 : 大野城市総合福祉センター3階小会議室
 運営委員 : 弁護士(1)、司法書士(1)、社会福祉士(2)、行政関係者(1) 計 5 名
 内 容 : ①受任中のケース報告
 ②新規受任に関する審議
 ③相談ケースの報告

①受任中のケース概要: 保佐類型1件
 療育手帳及び身体障害者手帳を所持し、施設入所している39歳の女性。

②新規受任に関する審議ケース1件の概要
 精神保健福祉手帳を所持し、母親と在宅生活している53歳の男性。母親が難病の診断を受け、母親主導で相談を受けており、本人に対して制度の理解をどこまでされているか確認を要するケース。

③相談ケース1件の概要
 療育手帳を所持し、両親と在宅生活している49歳の男性。父親が後見人であるが、高齢で病気もあるので、後継者として社協に受任を希望されているケース。

②については、日常生活自立支援事業の利用で調整を継続しており、契約予定である。

③については、継続審議で来年度の運営委員会で審議予定。

2 その他の相談ケース内容と今後の展開

以前、日常生活自立支援事業を利用していたが、本人が管理するということで解約になったケースがある。その後も訪問介護や計画相談などを利用されたり、日頃から社協に来所され近況報告をされている。遠方にいる母親が亡くなり、今後、市役所の関係部署と今後の方針を立てていく予定になっている。

また、成年後見制度利用促進基本計画が位置づけられ、今後地域社会の中で本人・後見人を支える機関等の社会的ネットワークが整備されていき、意思決定支援や身上の保護(監護)を重視するという流れの中で、意思決定支援の研修の機会があると思われるので、積極的に参加をして、情報収集に努めていきたい。

VIII. 寄附採納事業

寄附採納事業 …… 59

32. 寄附採納事業

寄附金は在宅高齢者・障がい者の方への支援事業やボランティアセンター運営事業など社会福祉協議会が行なう民間社会福祉事業に活用されている。

※寄附種別

- 一般寄附 …… 個人、団体の善意による寄附
- 香典返し寄附 …… 故人並びにご遺族のご遺志による寄附
- 指定寄附 …… 指定した事業に充てられる寄附
- 物品寄附 …… 車いす、紙オムツなど物品による寄附

平成 年度実績

◇寄附採納事業実績

寄附種別	件 数	寄附内容
一 般 寄 附	55件	1, 274, 692円
指 定 寄 附	(商品券) 1件	5, 000円
香 典 返 し 寄 附	27件	1, 043, 013円
(合 計)	83件	2, 322, 705円
物 品 寄 附	106件	食料品 8 件、お菓子 16 件、文房具 3 件 紙おむつ等 25 件、布団・毛布等 5 件 介護用品 3 件、カレンダー 1 件、石鹸類 2 件 杖 3 件、ブックカバー等 1 件、衣類等 10 件 ファミリーコンサートチケット 1 件、ビーチボール 1 件 大野城市指定家庭用ごみ袋 1 件 久留米おきあげ・博多人形 1 件、五月人形・雛人形 2 件 将棋盤・駒・碁石一式、習字道具一式 シャワーチェア 4 台、車いす 8 台、ポータブルトイレ 1 台 足湯機 1 台、シルバーカー 2 台、介護リフト 1 台 地球儀 1 個、マッサージチェア 1 台、体重計 1 台 ベビーシート 1 台、チャイルドシート 2 台、踏み台 1 台 簡易取付手摺り 1 個 切手・ハガキ等 22 件(一般寄付へ)

一税控除の適応について一社会福祉協議会へのご寄附は特定寄附金です>

個人寄附者

寄附金控除額 =

1月～12月まで
特 定 寄 付 金 } どちらか
総所得の 40%相当額 } 少ない額

— 2, 000円

企業寄附者全額損金算入限度額

=

1月～12月まで
(資本金の 0.25%) + (所得の金額の 5%) ÷ 2

★但し、税制改正により変更になることがある。

Ⅸ. そ の 他 の 事 業

ふくしフェスティバル 2017		60
社会福祉援助技術現場実習受け入れ		60
職員の資格（取得）状況		61
職員内部研修		62

33. ふくしフェスティバル2017

第1期大野城市地域福祉活動における
市民活動推進計画

高齢者・障がい者・児童福祉などに対する正しい理解と普及啓発を図るとともに、市民の地域福祉活動を促進することを目的したこの事業は今回で18回目を迎えた。

一昨年より改変した実行委員会で、今年も企画内容の検討がなされ、これまでフェスティバル会場がまどかぴあと、福祉センターで行っていたものを、まどかぴあ館内で一本化することで動線の確保が取れた。またまどかぴあ内には新企画のマルシェなどを行い、新たな客層を集めることができ、参加者は昨年より約500人増の約3,500人が集まった。

平成29年度実績

内 容：福祉施設団体や音楽サロン発表等のアトラクション、作品展示販売コーナー、ボランティア体験コーナー、作ろう・食べよう！介護食、宇木さん（視覚障がい者）コンサートなど

期 日：平成29年11月26日（日）

場 所：大野城まどかぴあ・市役所南側駐車場及び南側玄関前広場

参加者：約3,500人

主 催：大野城市ふくしフェスティバル実行委員会

共 催：大野城市・大野城市社会福祉協議会

34. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ

将来の福祉従事者を育成する一環として、各学校からの実習生の受け入れを行なっています。実習内容は、社会福祉協議会の事業全般にはじまり、介護サービス（訪問介護、訪問入浴）、コミュニティワーカーの地域福祉活動の現場実習等、様々なカリキュラムを組んでいます。

平成29年度実績

◇実習生受け入れ状況

実 習 期 間		大 学 名	人 数
平成29年度	8月14日（月）～ 9月15日（火）	筑紫女学園大学	2
	8月14日（月）～ 9月15日（火）	久留米大学	1
延べ日数 81日			延べ人数3人

35. 職員の資格（取得）状況

社協職員は業務上、必要な資格を持ち合わせていない場合があります、職員が自らの仕事力を高めるために様々な資格の取得に努力しています。

資格等名	社会福祉士	社会福祉主事	社会保険労務士	ボランティアコーディネーションカ		社協会計実務通信講座			簿記3級以上	応急手当普及員	防災士	防火管理者	介護支援専門員	主任介護支援専門員	看護師	介護福祉士	ホームヘルパー		介護職員初任者研修	ガイドヘルパー	成年後見人養成	認知症センター方式地域推進員	認知症キャラバンメイト	食品衛生責任者	ファイナンシャルプランナー	一級土木施工管理技士
				2級	3級	上級	初級	入門									1級	2級								3級
事務局	6	7	1	3	6		2	1	8	5	2	4	2	1		1	1	3	1	1	1				2	1
介護サービス	2				1				8	3		1	6	2	3	19	3	21		13	1	1	7	1		
総数	8	7	1	3	7	0	2	1	16	8	2	5	8	3	3	20	4	24	1	14	2	1	7	1	2	1

資格等名	社会福祉士実習指導者	行動援護	障がい者ヘルパー	精神障がい者ヘルパー	難病ヘルパー	保育士	認知症ケア専門士	幼稚園教諭	福祉住環境	福祉用具相談専門員	介護クラーク事務	医療事務	調理師	栄養士	同行援護	図書館司書	介護福祉士実習指導者	障害者相談支援従事者	バリデーション	喀痰吸引（第3号）	第二種衛生管理者	大型二種運転免許	大型一種運転免許	介護職員実務者研修	医療的ケア児コーディネーター	車イスレクダンスインストラクター
事務局	4			1	1	2		2				2	1					3				3	1			1
介護サービス	1	5	2	7	8	3		4	2	2	1	1	2	1	5	2	1	3	2	2				2	1	
総数	5	5	2	8	9	5	0	6	2	2	1	3	3	1	5	2	1	6	2	2	0	3	1	2	1	1

36. 職員内部研修

◇平成29年度職員内部研修

①接遇研修

開催日	平成29年7月8日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員43名
研修内容	接遇研修～心を柔らかくしよう～

②人権研修

開催日	平成29年12月9日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員45名
研修内容	人権研修 「障害者差別解消法」 講師:大野城市福祉課障がい者支援係長 福田 益光 氏 「身体に障害がある人もない人も誰もが住みやすい町づくりのために」 講師:南里 英治 氏

資 料

別表 1	社協会員推進状況	… 63
別表 2	介護サービス状況	… 64
別表 3	ほっとサポート状況	… 67
別表 4	介護サービス研修会開催状況	… 68
別表 5	福祉食事サービス利用状況	… 69
別表 6	職員研修参加等実績	… 70

別表1

平成29年度社協会員推進実績

区別	一般会員			賛助会員			特別会員			平成29年度実績			平成28年度実績		前年度比較
	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	口数	金額	
牛額	845	990	495,000	1	1	2,000	1	2	10,000	847	993	507,000	967	486,500	20,500
若草	484	578	289,600	1	1	2,000	1	1	5,000	486	580	296,600	622	318,900	△ 22,300
平野台	978	978	489,000	0	0	0	0	0	0	978	978	489,000	968	484,000	5,000
月の浦	1,216	1,284	642,000	0	0	0	0	0	0	1,216	1,284	642,000	1,249	624,500	17,500
南ヶ丘1	1,789	1,848	924,000	1	1	2,000	0	0	0	1,790	1,849	926,000	1,866	933,000	△ 7,000
南ヶ丘2	1,046	1,046	523,000	0	0	0	0	0	0	1,046	1,046	523,000	1,057	528,500	△ 5,500
つつじヶ丘	829	1,165	582,500	0	0	0	0	0	0	829	1,165	582,500	1,175	587,500	△ 5,000
上大利	73	1,496	748,000	1	1	2,000	0	0	0	74	1,497	750,000	1,500	750,000	0
下大利	312	858	443,400	0	0	0	2	2	10,000	314	860	453,400	889	455,000	△ 1,600
東大利	163	821	412,900	1	1	2,000	1	1	5,000	165	823	419,900	977	506,200	△ 86,300
下大利団地	540	540	270,000	1	1	2,000	1	1	5,000	542	542	277,000	541	275,000	2,000
白木原	208	541	270,500	4	8	16,000	15	60	300,000	227	609	586,500	1,015	519,500	67,000
瓦田	382	863	442,676	24	24	48,000	4	5	25,000	410	892	515,676	1,035	590,676	△ 75,000
釜蓋	23	569	284,500	1	1	2,000	2	2	10,000	26	572	296,500	561	291,000	5,500
井の口	577	577	288,500	0	0	0	0	0	0	577	577	288,500	573	286,500	2,000
中	466	871	435,500	1	1	2,000	0	0	0	467	872	437,500	887	446,500	△ 9,000
乙金	101	535	323,000	1	1	2,000	0	0	0	102	536	325,000	507	308,000	17,000
乙金台	496	500	250,000	0	0	0	0	0	0	496	500	250,000	489	244,500	5,500
乙金東	463	463	231,500	0	0	0	1	1	5,000	464	464	236,500	425	217,000	19,500
大池	394	394	197,000	0	0	0	0	0	0	394	394	197,000	396	198,000	△ 1,000
上筒井	645	1,385	692,500	1	1	2,000	0	0	0	646	1,386	694,500	1,405	702,500	△ 8,000
下筒井	228	559	279,500	2	2	4,000	1	1	5,000	231	562	288,500	532	273,500	15,000
山田	535	536	268,000	3	3	6,000	0	0	0	522	523	274,000	547	277,000	△ 3,000
雑餉隈町	126	138	69,000	1	1	2,000	4	4	20,000	131	143	91,000	137	88,000	3,000
栄町	70	72	36,000	5	5	10,000	1	2	10,000	76	79	56,000	97	59,000	△ 3,000
仲島	180	266	133,000	0	0	0	1	1	5,000	181	267	138,000	238	123,500	14,500
畑詰	109	195	97,500	0	0	0	0	0	0	109	195	97,500	197	103,000	△ 5,500
シブツク	6	12	6,000	1	1	2,000	15	17	85,000	22	30	93,000	48	96,000	△ 3,000
食改善	0	0	0	0	0	0	23	44	220,000	23	44	220,000	47	223,000	△ 3,000
企業・団体	15	27	13,500	7	7	14,000	21	40	200,000	43	74	227,500	57	199,500	28,000
リトカー利用者	4	6	3,000	8	17	34,000	11	18	90,000	17	26	127,000	23	88,000	39,000
パディヤジ利用者	1	1	500	4	4	8,000	1	1	5,000	6	6	13,500	9	25,500	△ 12,000
福祉機器利用者	5	12	6,000	2	2	4,000	0	0	0	7	14	10,000	10	5,000	5,000
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3,500	△ 3,500
合計	13,309	20,126	10,147,076	71	84	168,000	106	203	1,015,000	13,464	20,382	11,330,076	21,050	11,317,776	12,300

別表2 平成29年度 介護サービス状況

		H29							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)	96	100	99	98	93	92		
	介護予防ケアプラン作成(人)	4	3	4	4	4	4		
	指定訪問介護(人)	30	28	30	25	22	22		
	指定介護予防訪問介護(人)	-	-	-	-	-	-		
	指定訪問入浴(人)	4	3	4	4	5	4		
	指定予防訪問入浴(人)	-	-	-	-	-	-		
	件数合計	134	134	137	131	124	122		
	ヘルパー実働(時間)	身体介護	69.00	70.00	80.50	75.50	79.00	62.50	
		生活援助	163.18	166.41	154.10	137.31	120.25	107.53	
		予防訪問介護	-	-	-	-	-	-	
	計	232.18	236.41	234.60	212.81	199.25	170.03		
入浴スタッフ稼働回数	実施	17	16	22	25	28	22		
	キャンセル	-	8	9	-	4	2		
総合事業	総合事業ケアプラン作成(人)	2	2	2	2	2	2		
	訪問型サービス国基準(人)	15	16	15	16	14	15		
	訪問型サービスA(人)	8	8	8	8	9	9		
	件数合計	25	26	25	26	25	26		
	ヘルパー実働(時間)	訪問型(国)	75.50	91.75	74.75	84.75	84.23	82.50	
		訪問型(A)	36.00	40.00	38.00	36.00	43.00	40.75	
計		111.50	131.75	112.75	120.75	127.23	123.25		
障害福祉サービス	居宅介護	指定特定相談支援	計画相談	5	24	3	11	7	6
			モニタリング	22	10	16	12	8	17
		対象者(人)	障害者	19	20	21	21	21	20
			知的障害者	2	1	1	1	1	1
			障害児	1	1	1	1	1	1
			計	22	22	23	23	23	22
		身体介護(時間)	障害者	119.50	144.00	142.50	102.50	105.50	145.00
			知的障害者	-	-	-	-	-	-
			障害児	8.50	6.00	4.50	4.00	2.50	7.00
			計	128.00	150.00	147.00	106.50	108.00	152.00
		家事援助(時間)	障害者	98.50	109.00	106.00	100.50	105.50	97.00
			知的障害者	17.00	7.00	8.00	8.00	6.00	4.00
			障害児	-	-	-	-	-	-
			計	115.50	116.00	114.00	108.50	111.50	101.00
	合計	243.50	266.00	261.00	215.00	219.50	253.00		
行動支援	対象者(人)	障害者	-	-	-	-	-	-	
		知的障害者	1	1	1	1	-	1	
		障害児	-	-	-	-	-	-	
		計	1	1	1	1	-	1	
		時間	障害者	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	10.00	10.00	10.00	10.00	-	10.00
	障害児		-	-	-	-	-	-	
	計	10.00	10.00	10.00	10.00	-	10.00		
	同行支援	対象者(人)	視覚障害者	4	3	3	3	3	3
	時間	視覚障害者	19.50	26.00	11.50	12.00	13.50	15.50	
地域生活支援事業	対象者(人)	障害者	1	1	2	2	2	2	
		知的障害者	1	1	1	1	1	1	
		障害児	5	5	5	6	2	5	
		計	7	7	8	9	5	8	
	移動身体あり(時間)	障害者	-	-	8.50	7.50	8.50	8.00	
		知的障害者	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00	4.00	
		障害児	11.50	15.00	18.50	11.50	1.50	16.50	
		計	15.50	19.00	31.00	23.00	13.00	28.50	
	移動身体なし(時間)	障害者	7.50	2.00	5.50	3.00	2.00	2.00	
		知的障害者	-	-	-	-	-	-	
		障害児	7.50	9.50	10.00	6.00	-	9.50	
		計	15.00	11.50	15.50	9.00	2.00	11.50	
	合計	30.50	30.50	46.50	32.00	15.00	40.00		
	入浴事業対象者(人)	2	2	2	2	2	2		
障害者(回)	11	13	13	13	14	12			
計	9	9	10	11	7	10			
障害福祉対象者計		36	35	37	38	33	36		
サービス利用者 計		195	195	199	195	182	184		
ヘルパー総稼働時間数		647.18	700.66	676.35	602.56	574.48	611.78		
入浴事業稼働回数		28	29	35	38	42	34		

			H29			H30			合 計	
			10月	11月	12月	1月	2月	3月		
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)		87	85	85	79	78	82	1,074	
	介護予防ケアプラン作成(人)		3	2	2	-	1	1	32	
	指定訪問介護(人)		20	22	19	19	18	18	273	
	指定介護予防訪問介護(人)		-	-	-	-	-	-	-	
	指定訪問入浴(人)		6	6	4	4	4	4	52	
	指定予防訪問入浴(人)		-	-	-	-	-	-	-	
	件数合計		116	115	110	102	101	105	1,431	
	ヘルパー実働 (時間)	身体介護	77.50	79.50	46.00	44.50	44.00	43.50	771.50	
		生活援助	100.03	105.06	99.26	85.55	88.26	86.26	1,413.20	
		予防訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	
		計	177.53	184.56	145.26	130.05	132.26	129.76	2,184.70	
入浴スタッフ稼働回数	実施	36	28	22	25	24	25	290		
	キャンセル	1	4	-	-	-	1	29		
総合事業	総合事業ケアプラン作成(人)		2	2	2	3	3	3	27	
	訪問型サービス国基準(人)		15	15	15	16	17	15	184	
	訪問型サービスA(人)		9	9	9	9	9	11	106	
	件数合計		26	26	26	28	29	29	317	
	ヘルパー実働 (時間)	訪問型(国)	87.25	86.50	84.25	83.50	86.75	94.50	1,016.23	
		訪問型(A)	42.00	42.50	42.75	41.25	38.00	53.75	494.00	
計		129.25	129.00	127.00	124.75	124.75	148.25	1,510.23		
指定特定相談支援		計画相談	13	12	12	5	8	7	113	
		モニタリング	7	10	14	8	11	17	152	
障害福祉サービス	居宅介護	対象者 (人)	障害者	22	22	21	20	21	21	249
			知的障害者	1	3	1	1	1	1	15
			障害児	1	1	1	1	1	1	12
			計	24	26	23	22	23	23	276
		身体介護 (時間)	障害者	153.50	151.00	146.00	129.50	91.00	113.00	1,543.00
			知的障害者	-	10.00	-	-	-	-	10.00
			障害児	7.50	2.50	8.00	4.50	7.00	6.50	68.50
			計	161.00	163.50	154.00	134.00	98.00	119.50	1,621.50
		家事援助 (時間)	障害者	101.00	97.00	94.00	88.00	92.50	105.00	1,194.00
			知的障害者	8.00	15.00	5.00	4.00	4.00	5.00	91.00
			障害児	-	-	-	-	-	-	-
			計	109.00	112.00	99.00	92.00	96.50	110.00	1,285.00
	合 計		270.00	275.50	253.00	226.00	194.50	229.50	2,906.50	
	行動支援	対象者 (人)	障害者	-	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	1	1	-	-	-	-	7
			障害児	-	-	-	-	-	-	-
計			1	1	-	-	-	-	7	
時 間	障害者	-	-	-	-	-	-	-		
	知的障害者	11.00	10.00	-	-	-	-	71.00		
	障害児	-	-	-	-	-	-	-		
	計	11.00	10.00	-	-	-	-	71.00		
同行支援	対象者(人)	視覚障害者	1	2	2	2	1	2	29	
	時 間	視覚障害者	10.00	14.00	12.50	14.00	6.00	9.50	164.00	
地域生活支援事業	対象者 (人)	障害者	1	1	1	2	1	3	19	
		知的障害者	1	1	1	1	1	1	12	
		障害児	5	5	6	5	5	5	59	
		計	7	7	8	8	7	9	90	
	移動身体あり (時間)	障害者	8.50	7.00	8.00	7.00	6.00	8.00	77.00	
		知的障害者	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00	46.00	
		障害児	16.00	12.50	13.50	12.00	11.50	4.50	144.50	
		計	28.50	23.50	25.50	23.00	21.50	15.50	267.50	
	移動身体なし (時間)	障害者	-	-	-	2.50	-	4.50	29.00	
		知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	
		障害児	9.00	7.50	7.00	6.00	6.50	4.50	83.00	
		計	9.00	7.50	7.00	8.50	6.50	9.00	112.00	
	合 計		37.50	31.00	32.50	31.50	28.00	24.50	379.50	
	入浴事業対象者(人)		2	2	2	2	2	2	24	
障害者(回)		13	13	12	11	14	16	155		
計		9	9	10	10	9	11	114		
障害福祉対象者計		35	38	35	34	33	36	426		
サービス利用者 計		177	179	171	164	163	170	2,174		
ヘルパー総稼働時間数		635.28	644.06	570.26	526.30	485.51	541.51	7,215.93		
入浴事業稼働回数		49	41	34	36	38	41	445		

別表2 平成29年度 介護サービス状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受 託	対象者(人)	13	11	11	24	32	12	12	10	18	12	10	22	187
	時間	138.00	112.00	112.00	258.00	360.00	120.00	120.00	110.00	184.00	130.00	106.00	224.00	1,972.00
	対象者(人)	-	2	2	2	-	-	2	3	2	2	2	-	17
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	2	2	2	-	-	2	3	2	2	2	-	17
	時間	-	2.00	2.00	2.00	-	-	2.00	4.00	2.00	2.00	2.00	-	18.00
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	2.00	2.00	2.00	-	-	2.00	4.00	2.00	2.00	2.00	-	18.00
赤 ち ゃ ん へ ル プ	対象者(延べ人数)	12	27	19	11	3	12	22	35	17	33	44	31	266
	時間	13.0	28.0	19.0	11.0	3.0	12.0	22.0	35.0	17.0	34.0	49.0	39.0	282.0
	回数	12	27	19	11	3	12	22	35	17	33	44	31	266
	対象者数	1	-	4	2	4	5	2	1	3	5	4	-	31
	訪問終了者	4	-	2	-	8	2	2	0	2	1	6	2	29
	サービス利用者 計	29	40	34	37	43	26	38	48	39	48	62	55	499

別表3 ほっとサポート状況(平成29年4月～平成30年3月)

のべ利用者 123 名

実利用者数 9 名

単価(1時間:1,800円)

内 容	利用時間	単価	回数	時 間	金 額
介護保険制度外支援他	30分	900	46	23 H	41,400
〃	1時間	1,800	54	54 H	97,200
〃	1時間30分	2,700	18	27 H	48,600
〃	2時間	3,600	3	6 H	10,800
〃	2時間30分	4,500	1	2.5 H	4,500
〃	2時間30分 (時間外)	4,625	1	2.5 H	4,625
合 計			123	115 H	207,125

平成29年度介護サービス研修会開催状況

別表 4	訪問介護	訪問入浴	居宅介護
4月8日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○29年度の方針及び事業内容について(担当 中山)	○	○	○
4月17日13:30～15:00居宅連絡会(年間計画) 4月24日13:00～14:00事例検討会			○
5月13日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○感染症対策について(担当 幸)講師:福岡徳洲会病院感染症管理室 片淵由貴氏	○	○	
5月16日13:30～15:30居宅連絡会(ケアプランチェック) 5月22日13:00～14:00事例検討会			○
6月10日(土)9:00～11:00 社協3F大会議室 ○認知症について(担当 福島愛砂)講師:福岡県社会福祉協議会 研修課 平山晶子氏	○	○	
6月13日13:30～15:30居宅連絡(平成30年法改正に向けて) 6月26日13:00～14:00事例検討会			○
7月8日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○接遇について(担当総務・鬼塚)	○	○	○
7月11日13:30～15:30居宅連絡会(総合事業・社会資源) 7月24日13:00～14:00事例検討会			○
8月12日(土) 9:00～11:15 春日・大野城・那珂川消防本部 ○緊急時の対応及び事故発生又は再発防止について(担当 平田)	○	○	○
8月22日13:30～15:00居宅連絡会(医療機関MSWとの情報交換) 8月28日13:00～14:00事例検討会			○
9月9日(土) 9:00～11:00 社協2F多目的室 ○身体介護技術(担当 福島正博)福岡徳洲会病院リハビリテーション科 札本 篤氏	○	○	
9月19日13:30～15:00居宅連絡会(災害時の対応) 9月25日11:00～12:00事例検討会			○
10月14・28日(土) ○施設見学(担当 幸) 見学先:糸島市社会福祉協議会志摩支所	○	○	
10月20日15:00～17:00ケアマネジメント調整会議見学 10月23日13:00～14:00事例検討会			○
11月11日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○訪問介護における医療の知識について(担当 福島愛)	○	○	
11月21日13:30～15:30居宅連絡会(ケアマネジメント調整会議、地域包括支援センターとの連携) 11月24日14:00～16:00筑紫地区介護支援専門員協議会研修(リハビリとの連携) 11月27日13:00～14:00事例検討会			○
12月9日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室(事務局合同) ○人権研修(担当総務・鬼塚・中山) 講師:南里英治氏・大野城市役所障がい福祉課 福田益光氏	○	○	○
12月19日13:30～15:30居宅連絡会(事例検討会) 12月25日13:00～14:00 事例検討会			○
1月13日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○口腔ケアの重要性について(担当 松田)講師:はなだ歯科クリニック 花田真也氏	○	○	
1月16日(13:30～15:30)居宅連絡会(小規模多機能型との情報交換、事例検討) 1月22日(月)13:00～14:00事例検討会			○
2月10日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○倫理及び法令遵守・虐待防止について(担当 秦)	○	○	
2月20日 筑紫地区介護支援専門員連絡協議会研修(アセスメント力を磨こう) 2月26日13:00～14:00事例検討会			○
3月10日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○介護保険法・障害者総合支援法改正について(担当 阿相・福島)	○	○	○
3月20日13:30～15:30居宅連絡会(サービス導入の勉強会、事例検討) 3月26日13:00～14:00事例検討会			○

訪問介護・訪問入浴職員全員参加(新任職員も含む)、毎回ヒヤリハット報告・事務連絡あり。
居宅介護については、毎週の定例会議の他月1回の事例検討会開催。大野城市居宅介護支援事業者連絡会もしくは筑紫地区介護支援専門員連絡協議会の研修に交替で参加。

平成29年度福祉食事サービス利用状況

別表5

月	利用者数	利 用 食 数			1日平均利用者			当 月 利 用 者 世 帯 状 況					未 利 用 者 内 訳					新規		
		昼食	夕食	計	昼食	夕食	1日	単身	夫婦	身障者	知障者	精障者	その他	廃止	入院	施設	死亡		その他	
4月	高齢者	65	572	1,126	1,698	19	38	57	56	4	2	1	3	5	4	2	2	0	1	3
	障がい者	6	46	74	120	2	2	4												
5月	高齢者	66	578	1,150	1,728	19	38	58	55	4	3	1	3	7	3	4	0	0	0	3
	障がい者	7	47	65	112	2	2	4												
6月	高齢者	69	578	1,227	1,805	19	41	60	58	4	2	1	3	7	2	2	1	0	2	4
	障がい者	6	47	53	100	2	2	3												
7月	高齢者	68	590	1,182	1,772	20	39	59	56	6	1	0	3	6	0	3	1	1	4	4
	障がい者	4	57	52	109	2	2	4												
8月	高齢者	61	546	1,099	1,645	18	37	55	51	4	1	0	3	6	4	4	1	1	1	1
	障がい者	4	52	46	98	2	2	3												
9月	高齢者	62	518	1,113	1,631	17	37	54	53	4	1	0	3	5	3	4	1	0	0	2
	障がい者	4	31	36	67	1	1	2												
10月	高齢者	61	478	1,198	1,676	16	40	56	51	3	0	2	3	7	7	3	0	0	1	5
	障がい者	5	57	55	112	2	2	4												
11月	高齢者	62	469	1,184	1,653	16	39	55	52	3	0	2	3	7	1	3	0	0	0	2
	障がい者	5	86	79	165	3	3	6												
12月	高齢者	59	447	1,196	1,643	15	40	55	51	2	0	0	3	6	5	3	3	1	0	0
	障がい者	3	33	31	64	1	1	2												
1月	高齢者	60	458	1,162	1,620	15	39	54	52	2	0	0	4	6	9	1	0	0	1	2
	障がい者	4	49	31	80	2	1	3												
2月	高齢者	63	404	1,070	1,474	13	36	49	55	2	0	0	4	6	2	3	0	0	1	3
	障がい者	4	45	28	73	2	1	2												
3月	高齢者	66	465	1,206	1,671	16	40	56	59	3	0	0	4	4	4	8	0	1	1	6
	障がい者	4	36	33	69	1	1	2												
合計		818	6,689	14,496	21,185										44	40	9	4	12	35

別表6 職員研修参加等実績

◇ 外部研修

平成29年度社会福祉施設役職員研修:新任職員研修	5/9・5/11・5/16	クローバープラザ	西小野 皆川 生田
平成29年度福岡県地域福祉活動職員連絡会総会	5/19	クローバープラザ	栗津
平成29年度大野城市シニアクラブ理事等研修会	5/25	南関町ホテルセキア	馬場
平成29年度訪問入浴レベルアップ研修	5/27	八百治ビル	福島(愛)
平成28年度大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業実施報告会	6/3	まどかびあ	馬場 高原 塚田
平成29年度社会福祉施設役職員研修基礎研修	6/6・6/20	クローバープラザ	山内
平成29年度福岡県相談支援従事者初任研修	6/7・8・7/19・20・8/24	ももちパレス・ウェルとぼた	幸
ホワイトボード・ミーティング福岡セミナー	6/11	リファレンス駅東ビル	高原 栗津
平成29年度感染症予防研修	6/15	まどかびあ	幸
医療法人芙蓉会筑紫南ヶ丘病院地域連携室主催 第2回地域ケアマネジャー懇話会	6/22	介護付き有料老人ホームメディケア南ヶ丘	平田
平成29年度安全運転管理者等講習会	6/29	クローバープラザ	合原
働き方改革～何故、今、必要なのか～	7/20	大野城市商工会館	金丸
平成29年度福岡地区地域福祉活動職員連絡会 課題別研修会	7/24	クローバープラザ	生田
那珂川町生活支援体制整備事業説明会・講演会の報告について	7/24	那珂川町福祉センター	塚田
平成29年度ストレスマネジメント研修	7/26	クローバープラザ	馬場
平成29年度社会福祉法人経営者支援事業 我が事・丸ごと！地域貢献セミナー	7/31	JR九州ホール	馬場
平成29年度労務管理研修	8/2	クローバープラザ	金丸
私たちの地域福祉の視点を広げる研修会②	8/4	福岡商工会議所	橋川
平成29年度第2回社会福祉法人経営者セミナー	8/8	九州ビル	井上
平成29年度市区町村社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長研修会	8/10	九州ビル	会長 局長
平成29年度養介護施設等指導者・管理者向け高齢者虐待防止研修会	8/28	大野城市役所	阿相
平成29年度市区町村社会福祉協議会社会福祉法人制度改革セミナー	8/30	まどかびあ	局長
平成29年度福岡県地域福祉活動職員連絡会研修事業 「子どもの権利を守るために社協ができることを考える」	9/5	福岡市市民福祉プラザ	馬場
平成29年度福祉サービス苦情解決従事者研修会	9/13・9/14	クローバープラザ	局長
福岡県法律相談合同研修会	10/17	吉塚合同庁舎	井上
平成29年度十市一町社協連絡協議会	9/22	大丸別荘	会長 局長
県民講座「認知症について考えるつどい」	10/17	クローバープラザ	栗津 塚田
筑紫地区在宅医療・介護多職種連携研修会	10/20	大野城まどかびあ	中山
福岡県生活支援ボランティア養成講座	10/31	クローバープラザ	塚田
平成29年度家事関係機関との連絡協議会	11/7	福岡家庭裁判所	局長
平成29年度感染症予防研修(後期)	11/8	大野城まどかびあ	福島
平成29年度福岡県生活支援コーディネーター養成研修	11/20	飯塚商工会議所	馬場 塚田
平成29年度市区町村社会福祉協議会職員研修会プレゼンテーション研修会	11/24	福岡センタービル	塚田
あいゆう研修	11/28	福岡市民プラザ	橋川
社会福祉士実習指導者講習会	11/29・11/30	クローバープラザ	橋川
介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	11/1・11/14・11/28 12/5・12/12	クローバープラザ	中山
平成29年度福岡県生活支援コーディネーター養成研修	12/1	飯塚商工会議所	馬場 塚田
福岡県地域医療介護総合確保基金事業研修会	12/7	南近代ビル	阿相
福岡県地域医療介護総合確保基金事業研修会	12/11・12/13	福岡市商工会議所	鬼塚
平成29年度在宅医療介護連携推進事業「市民講座」	12/16	クローバープラザ	塚田
平成29年度コーチング研修	12/20	クローバープラザ	馬場
平成29年度福岡県医療的ケア児等コーディネーター養成研修会	12/23・12/24	TKP 小倉シティセンター-KOKURA	幸
平成29年度日常生活自立支援事業生活支援員研修会(実務者編)	12/25	クローバープラザ	宮原
平成29年度ホームヘルプの質を高める研修会	1/10・1/11	全国社会福祉協議会	福島
平成29年度福岡県共同募金会支会会長・事務局長会議	1/12	クローバープラザ	会長 局長
平成29年度財務会計セミナー	1/17	九州ビル	橋川

平成 29 年福岡県医療のケア児等コーディネーター養成研修会	1/20・1/21	北九州市総合療育センター	幸
平成 29 年度市町村社会福祉協議会会計セミナー	1/23	クローバープラザ	高原
大野城市在宅医療・介護支援ネットワーク会議	1/24	筑紫医師会館	阿相 鬼塚
平成 29 年度第 2 回大野城市道徳教育推進協議会	2/7	大野城市役新館	馬場
平成 29 年度アルコール講演会	2/8	筑紫総合庁舎	高原
災害ボランティアセンター運営者育成研修	2/18	八重洲博多ビル	金丸
平成 29 年度筑紫四市一町社会福祉協議会 会長・事務局長連絡協議会 総務担当者会議	2/8	春日市総合福祉センター	会長 局長 合原 高原
主任介護支援専門員フォローアップ研修Ⅰ	2/19	福岡市商工会議所	鬼塚
平成 29 年みんなが主役元気な地域づくりセミナー	2/21	福岡国際会議場	金丸
平成 29 年度精神保健福祉家族講座	2/23	筑紫総合庁舎	栗津
平成 29 年度第 2 回共同募金推進委員会	2/27	クローバープラザ	局長
平成 29 年度市町村社会福祉協議会職員研修会 ボランティアコーディネーター研修会	2/27	クローバープラザ	金丸
第 28 回筑紫認知症セミナー	3/7	筑紫医師会館	阿相 鬼塚 中山
平成 29 年度市町村社会福祉協議会福祉教育担当研修会	3/8	福岡センタービル	会長
私たちの地域福祉の視点を広げる研修会④	3/9	クローバープラザ	井上
平成29年度地域保健関係職員等研修会(歯科保健)	3/15	福岡県筑紫合同庁舎	鬼塚
自殺防止対策研修会(ゲートキーパー養成講座)	3/15	大野城市総合福祉センター	今村
那珂川町生活支援体制整備事業第3回研究会	3/20	那珂川町社会福祉協議会	塚田

毎月第 2 土曜日 介護サービス定例研修

